

Grandstream Networks, Inc.

GVC3212

HD ビデオ会議デバイス

ユーザーガイド



目次

ようこそ.....	4
製品概要	5
GVC3212のインストール	7
パッケージ内容.....	7
GVC3212の接続	7
GVC3212 ポート概要	8
セットアップウィザード.....	9
GVC3212を知る	12
リモコン.....	13
リモコンの使用.....	13
マウスとキーボードの使用.....	14
LEDインジケータの使用	14
ステータスアイコン.....	15
オンスクリーンキーボードの使用.....	15
英語キーボード.....	15
数字と記号.....	16
ホーム画面	16
GVC3212 メニュー.....	16
GVC3212 画面設定	17
ベーシックセッティング	17
言語 & タイムゾーン	17
電源管理	17
HDMI.....	18



ネットワーク設定	19
イーサネット	19
Wi-Fi	24
Wi-Fi ディスプレイ	26
LLDPとVLAN 設定	27
状態	28
管理者設定	28
IPVideoTalk アカウント	28
メンテナンスおよびアップグレード	30
工場出荷設定に戻す	33
IPVIDEOTALK 会議	34
会議を開始する	34
会議中の着信に応答する	34
会議マネジメント	35
パーソナル会議室にアクセスする	36
不在着信	36
参加者を会議に招待する	37
もっと（会議詳細）	37
DTMFを開く	38
エコーディレイ	39
会議の終了	39
新しいミーティングを予約	40
ミーティングリスト	41
連絡先	41
ローカル連絡先	41
企業電話帳	42



ようこそ

Grandstream GVC3212 HD ビデオ会議デバイスをご購入頂きありがとうございます。このドキュメントはGVC3212のLCD画面設定, ウェブUI設定と詳細設定の仕方について紹介します。その他のガイドは <http://www.grandstream.com/support> よりダウンロードしてください。

GVC3212は、テレビの上や卓上に設置しやすいコンパクトでリーズナブルな価格のHD ビデオ会議端末です。このデバイスはモバイルデバイスやノートPCなどの身近なあらゆるデバイスで参加できる会議を主催することのできるGrandstreamのIPVideoTalkミーティングプラン、オンライン会議プラットフォームとセットでご利用頂けます。GVC3212は、最大3mの高音質集音範囲、アドバンスドエコーキャンセラーと洗練されたバックグラウンドノイズ抑制機能を持つ内蔵デュアルマイクを装備しています。この製品はミーティング参加者に面倒な配線なしにプレゼンテーション、ビデオ、その他のコンテンツをPC/Mac または Android/iOSデバイスから直接ワイアレスコンテンツ画面共有が行える便利なMiracastとAir Playをサポートしています。この使いやすく導入しやすいビデオ会議端末は、リモートワーカーとリーズナブルな価格で高品質ビデオコミュニケーションを必要とする小規模オフィスにとって理想的な選択です。



製品概要

表 1: GVC3212 技術仕様

仕様	概要
プラットフォーム	IPVideoTalk
ネットワークインターフェース	1x 自動認識 RJ45 10/100 Mbps イーサネットポート
ディスプレイ	1x HDMI 1.5、最大1080p ビデオディスプレイをサポート
カメラ	メガピクセル CMOS センサー, 720P@30fps
レンズ	ワイドアングル60° 視野角
リモコン	IR リモコン付属
Wi-Fi	内蔵デュアルバンド Wi-Fi 802.11 a/b/g/n/ac
その他ポート	TRS 3.5mm, 2x USB 2.0
オーディオコーデック	フルバンド Opus, ワイドバンド G.722, G.711, AEC, ANS, AGC, ノイズシールド, PLC, CNG/VAD
ビデオコーデックと性能	H.264 BP/MP/HP, ビデオ解像度 最大 720P 30fps; コンテンツ解像度 最大 720P /最大5fps; BFCP; フリッカー防止, オートフォーカスと自動露光
会議機能	ミュート, 通話録画, キャッチホン, 自動応答, フレキシブルダイヤルプラン, 個別リングトーン/保留音, サーバー冗長化&フェイルオーバー
ワイヤレス画面共有	Miracast と Airplayをサポート
HD オーディオ	アドバンスドアコースティックエコーキャンセラー, 3mの音声集音機能, 48KHzフルバンド音声サンプリングレートをサポートした内蔵無指向性カーディオイドデュアルマイク
設置スタンド	テレビ上部設置用調整可能な内蔵スタンド
QoS	レイヤー 2 QoS (802.1Q, 802.1p) と レイヤー 3 (ToS, DiffServ, MPLS) QoS
セキュリティ	ランダムデフォルトパスワード, デバイス毎の独自認証, ユーザー/管理レベルパスワード, MD5 と MD5-sess ベース認証, 256ビット AES 暗号化コンフィグファイル, TLS, SRTP, HTTPS, 802.1x媒体アクセス制御
アップグレード/プロビジョニング	TFTP / HTTP / HTTPSまたは ローカル HTTP アップロードによるファームウェアアップグレード, AES 暗号化XML コンフィグファイルを使用した大量一斉プロビジョニング
電源仕様	付属ユニバーサル電源アダプター: 入力: 100-240V 50-60Hz 出力: 12VDC 1A(12W)
温度と湿度	動作温度: 0°C ~ 40°C 保管温度: -10°C ~ 60°C, 湿度: 10% ~ 90% 結露無き事



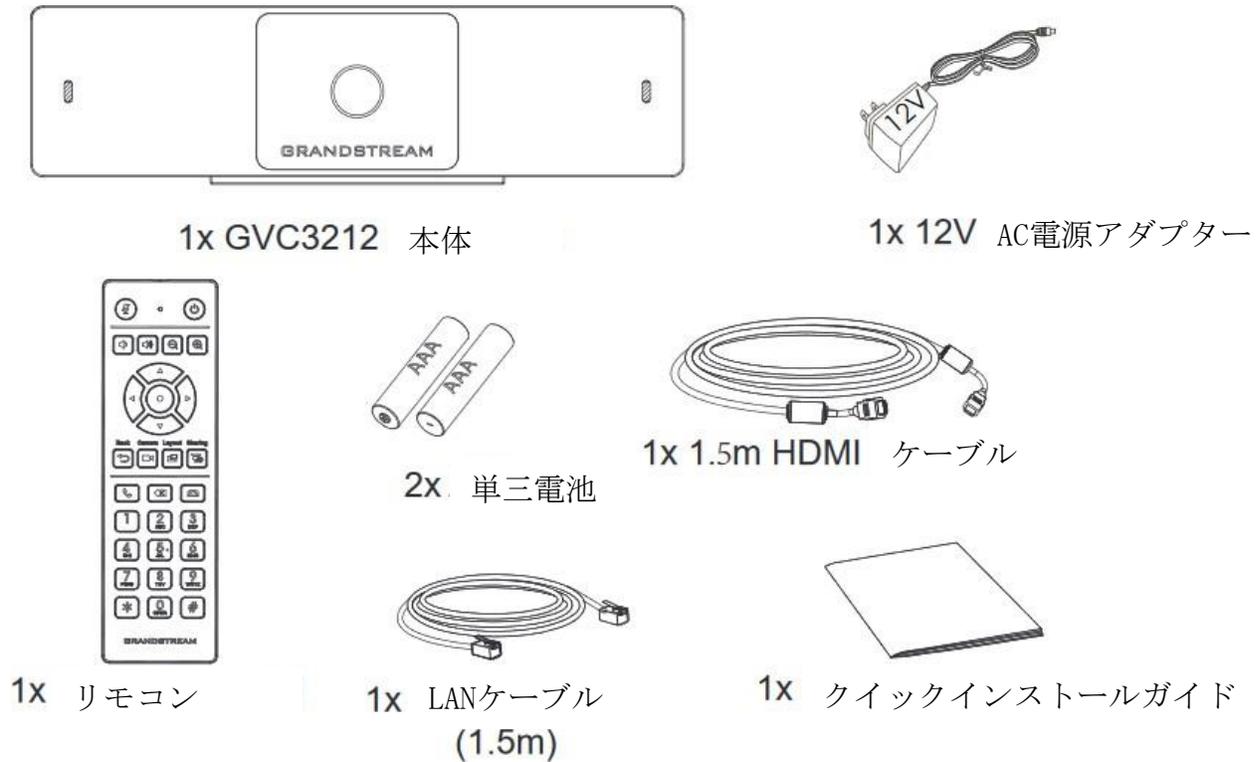
パッケージ内容	GVC3212 デバイス, リモコン, 2x 単三電池, ユニバーサル電源アダプター, ネットワークケーブル(1.5 メートル), HDMI ケーブル (1.5 メートル), クイックガイド
寸法	ユニットサイズ: 130mm(L) x 35.5mm(W) x 68mm(H)



GVC3212のインストール

パッケージ内容

GVC3212 パッケージには以下のアイテムが含まれています。



クイックインストールガイド

図 1: GVC3212 パッケージ内容

GVC3212の接続

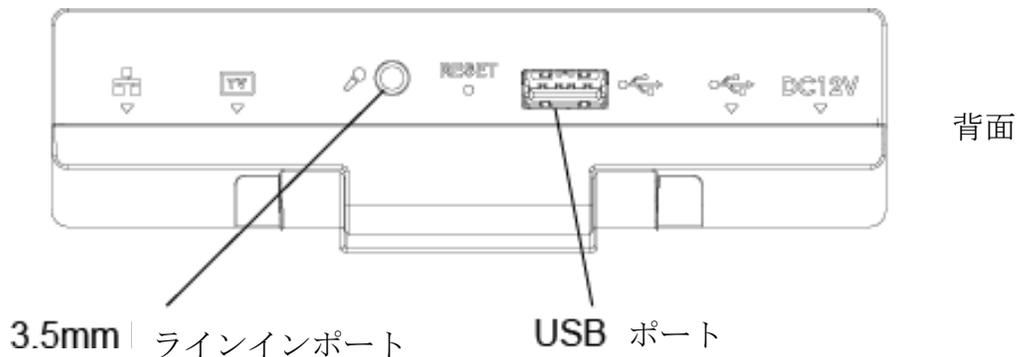


図 2: GVC3212 背面



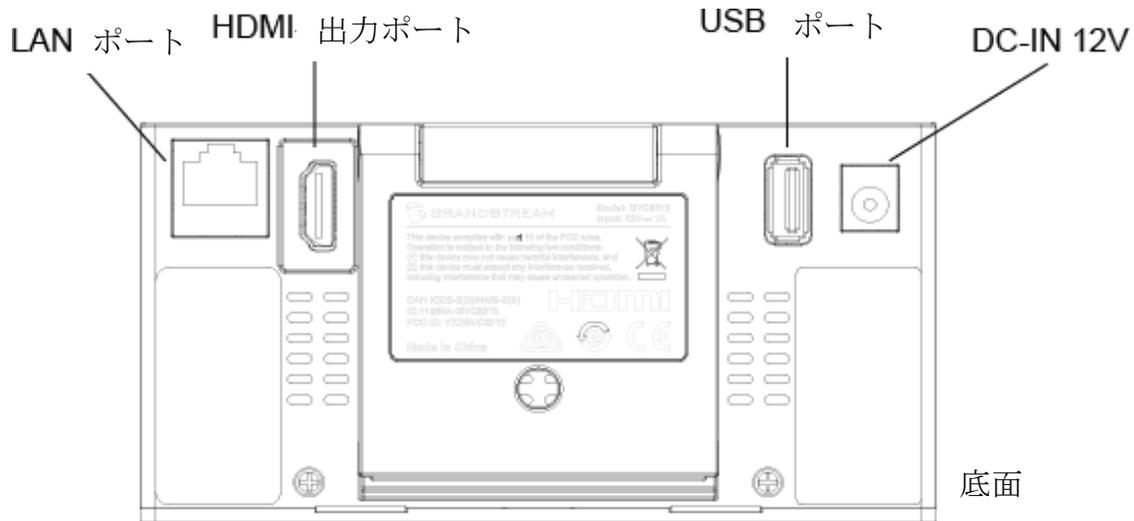


図 3: GVC3212 背面パネル

以下のステップに従ってGVC3212を接続してください:

1. GVC3212の LANポートをイーサネットケーブルでハブ/スイッチ又はルーター（ルーターのLAN側）のRJ-45ソケットと接続します。
2. GVC3212のHDMI出力ポートとディスプレイ機器のHDMIポートとをHDMIケーブルを使用して接続します。（例., テレビ）
3. 電源アダプターの12V DC 出力プラグをGVCの電源ジャックと接続し、電源アダプターを電源コンセントと接続します。
4. ディスプレイ機器（例, テレビ）は待機中のホーム画面と上部ステータスバーにIP アドレスを表示します。
5. (オプション) USB 周辺機器をUSBポートと接続します。（例.,マウス, キーボード, USBメモリードライブ 他.）
6. ライン入力ポートに マイクを接続します（外部オーディオ入力デバイス）

GVC3212 ポート概要

テーブル 2: GVC3212 ポート

名前	説明
3.5 mm ライン入力	外部マイクを接続
2 x USB ポート	USB機器を接続 (外部ストレージ,マウス...)
LAN ポート	RJ-45 ケーブルを使用してローカルネットワークと接続
HDMI 出力ポート	HDMI ディスプレイ機器を接続.
電源インタフェース	電源アダプターと接続. 電源アダプター上の→インジケータは、電源アダプターが接続されると上向きになります。

セットアップウィザード

初めての使用時またはファクトリーリセット後、GVC3212は基本設定を通してユーザーをガイドするセットアップウィザードツールを提供します。ユーザーは、スキップ及び後から設定することも可能です。

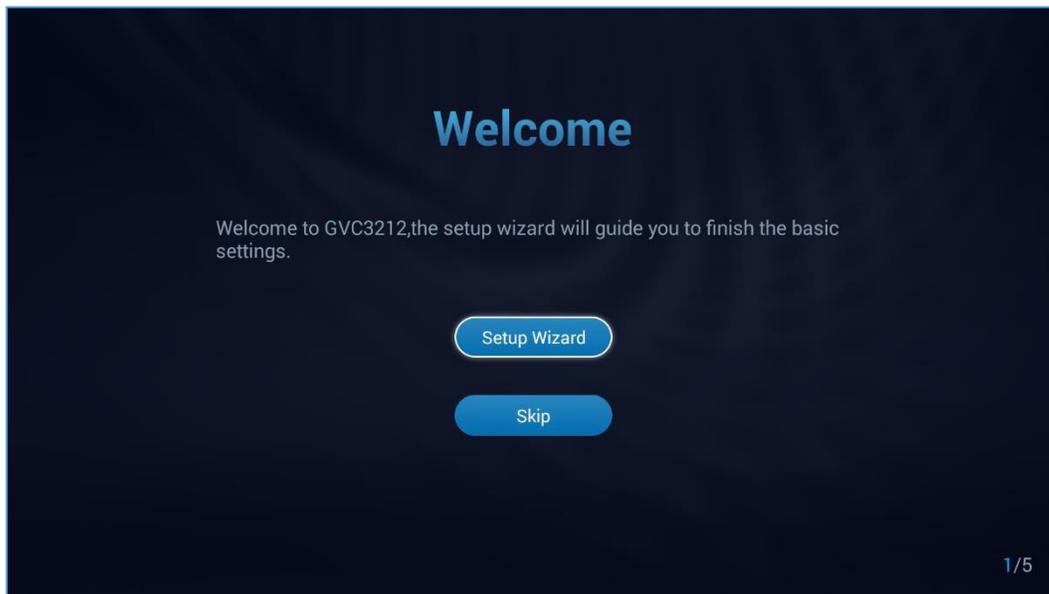


図 4: セットアップウィザード

ユーザーは各項目を設定するためリモコンを使用し下記のステップに従ってください、スキップ、戻るを選択できます。セットアップウィザードツールは 言語、アカウント、インタフェース状態など GVC3212を設定するのにたいへん便利です。 **Setup Wizard** (セットアップウィザード) をクリックし、開始します。

1. **Language and Time Zone:** (言語とタイムゾーン) をクリックし、設定します。

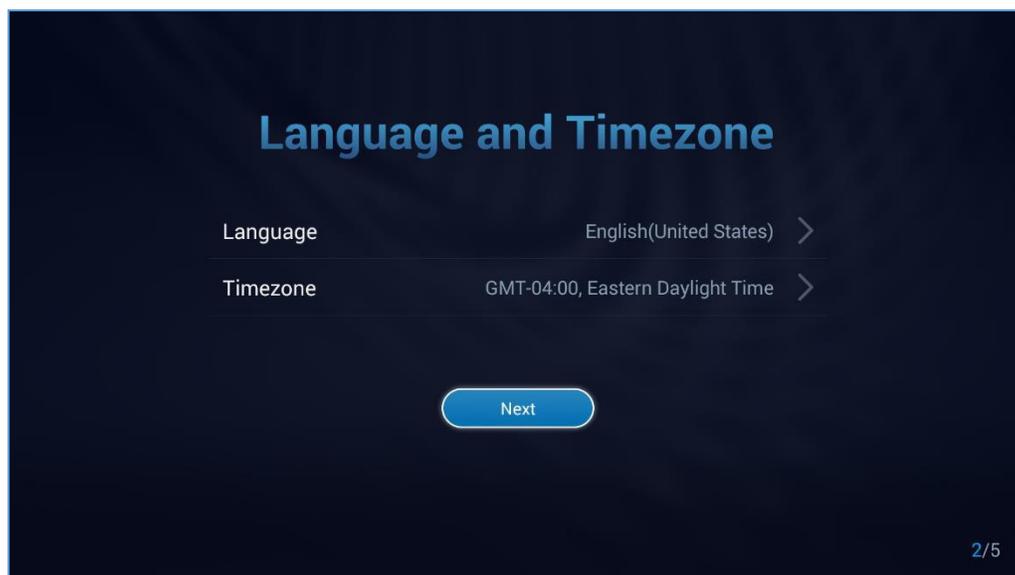


図 5: セットアップウィザード - 言語とタイムゾーン



2. Network（ネットワーク）設定

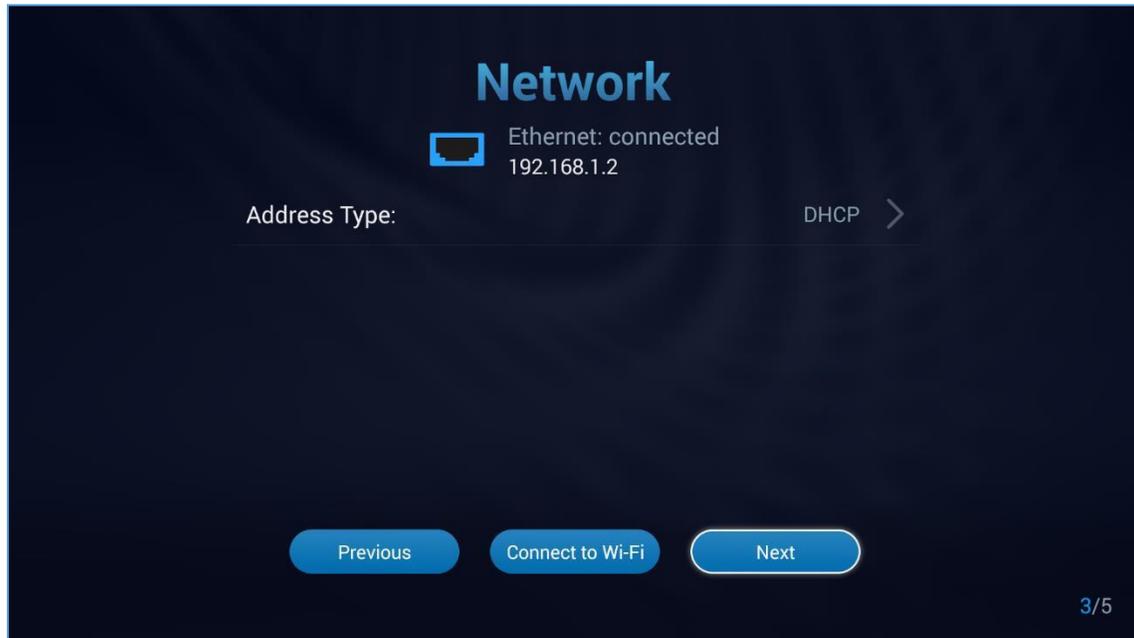


図 6: セットアップウィザード - ネットワーク設定

- ユーザーはイーサネット設定とDHCP、スタティック（固定）IPなどのアドレスタイプとPPPoEアカウントを設定することができます。
- ユーザーは代わりに **Connect to Wi-Fi（Wi-Fiへ接続）** を押し利用可能なSSIDと接続することによりWi-Fi 接続を選択することができます

3. IPVideoTalkサービスの導入



図 7: セットアップウィザード - IPVideoTalk サービス



4. セットアップウィザードの完了:

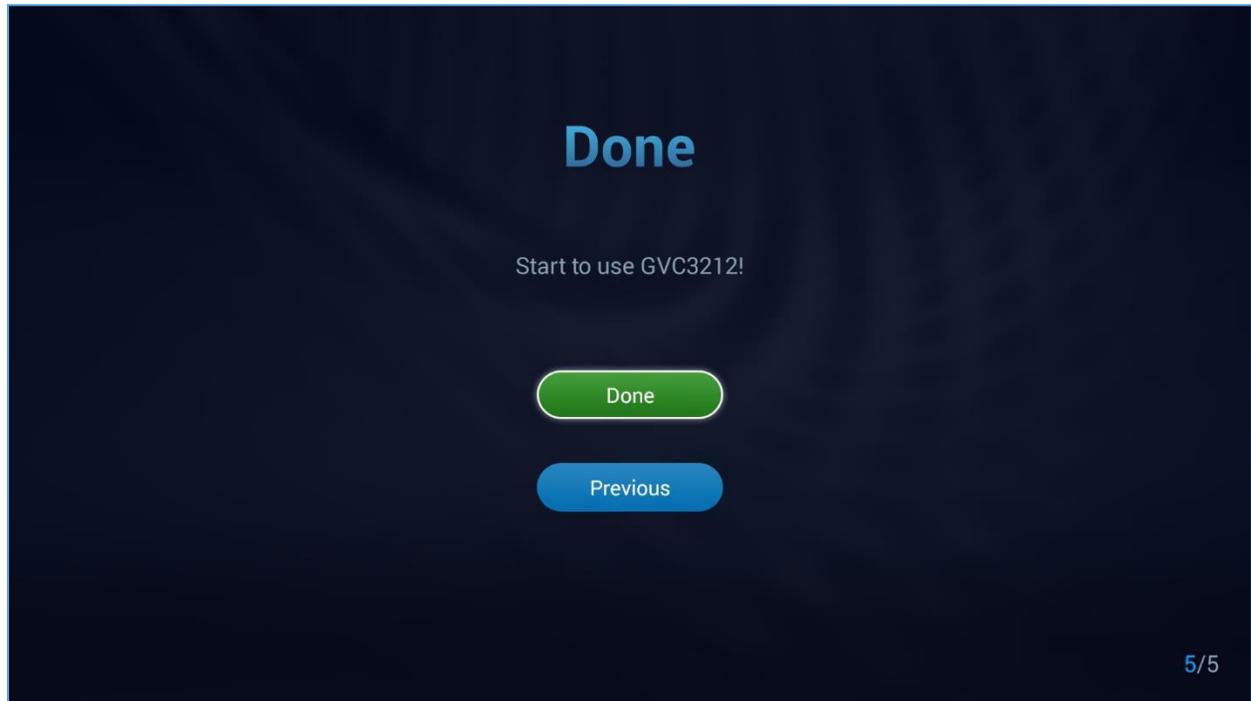


図 8: セットアップウィザード-完了

GVC3212を知る

リモコン

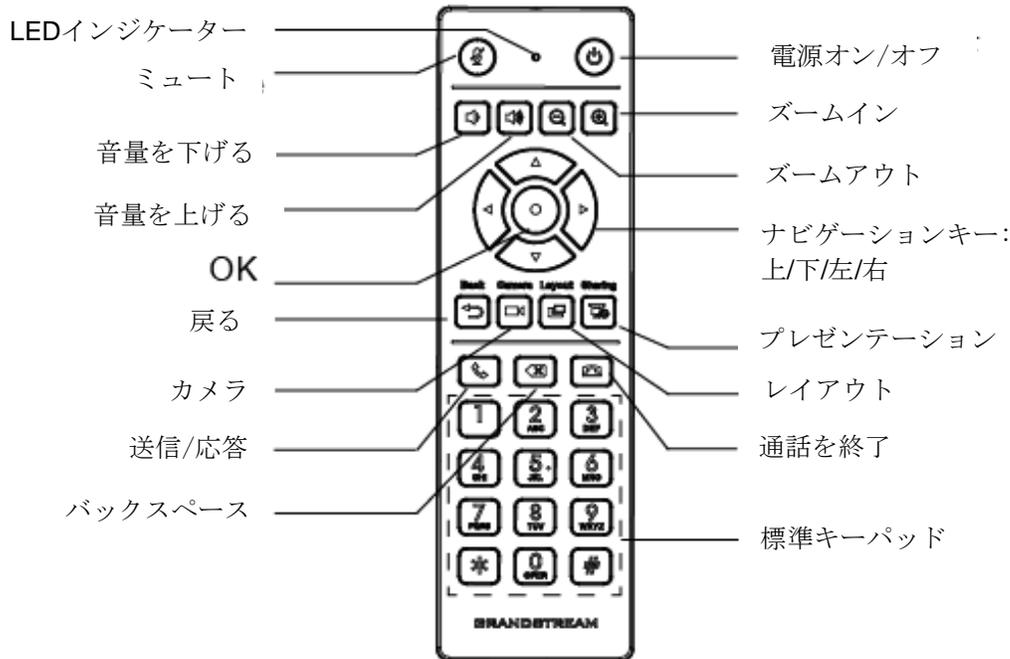


図 9: GVC3212 リモコン

表 3: GVC3212 リモコンキー

アイコン	名前	説明
1, 2, 3, 4...9	数字キー	数字1-9 と文字を入力 数字キーを使用した文字入力は、文字として画面には表示されませんが、コール画面の連絡先検索に使用されます。例えば、5 (JKL), 6 (MNO), 4 (GHI), 6 (MNO)を入力し、GVC3212の連絡先リストにJohn がある場合は、これが表示されます。
	カメラ	ローカルカメラ入力の有効/無効を設定
	レイアウト	会議中の画面レイアウトを切り替え
	ミュート/DND (着信拒否)	会議中にGVC3212をミュートします。
	画面共有	会議中にプレゼンテーションを全ての参加者に表示する機能の有効/無効を設定

	会議発信/応答	<ul style="list-style-type: none"> コール画面にアクセスし、通話番号を入力、それからキーを押してダイヤルします。 キーを押し、前回発信番号にリダイヤルします。
	通話を終了	会議を終了
	削除	キーを押し文字の入力を削除。
	ナビゲーションキー: 上/下/左/右/OK	<ul style="list-style-type: none"> オプションを選択しナビゲーションキーを押します。 Okボタンを押し設定を確認しアクセスします
	電源オン/オフ	<p>このキーを押した後、以下の3つのオプションが LCDプロンプトに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Sleep (スリープ) Power Off (電源を切る) Reboot (再起動) <p>2回目に電源ボタンが押された後、ポップアップウィンドウが閉じます。</p>
	戻る	キーを押して前画面に戻ります。また現在の画面を終了します。
	音量を下げる	音量を下げます
	音量を上げる	音量を上げます
	ズームイン	画面をズームインします。
	ズームアウト	画面をズームアウトし、焦点を調整します。

リモコンの使用

GVC3212のリモコンは、GVC3212と赤外線接続されます。リモコン使用前に、単三乾電池2本がリモコン背面に正しく挿入されていることを確認してください。GVC3212とリモコンの間に障害物がなく、直接面していることを確認します。接続後のリモコンのLEDは、ユーザーがキーを押すといつでも緑色に点灯します。

リモコンがGVC3212との接続に失敗した場合、以下のステップに従ってトラブルシューティングしてください。

- 電池ケースに挿入する際のバッテリーの極性と向きが正しいかを確認してください。
- バッテリーの容量を確認してください。



GVC3210のリモコンが、上記の診断で動作しない場合は、他のリモコンを試してください。または購入先にお問い合わせください。

マウスとキーボードの使用

USB マウスが GVC3212に接続されると、ユーザーはマウスにより以下の操作が可能になります。

- USB マウスの左キーをシングルクリックし、以下を操作します。
 - ▶ アクセスメニュー
 - ▶ チェックボックスにチェックを入れる。またはオプションの有効/無効を選択します。
 - ▶ コンボボックスをクリックする際、ドロップダウンリストを開きます。
 - ▶ 入力ボックスの中の入力方法をスイッチします。ソフトキーボードの該当ボタンをタップし、文字を入力します。
- 左キーを押し、ソフトキーボードの  ボタンをタップし、"常に大文字を使用" に切り替えます。
- USB マウスの右キーをシングルクリックすると、現在のディスプレイメニューから出ます。設定を保存せず、以前のメニューに戻ります。

LEDインジケータの使用

GVC3212 LED インジケータは、OLEDの横にあります。これはユーザーにデバイスの現在の状態を知らせるために使用可能です。下記の状態説明をご参照ください。

表 4: GVC3212 LED インジケータ状態説明

LED インジケータ状態	説明
赤点灯	起動中
緑点灯	スタンバイ (スリープモード)
オフ	電源オフ



ステータアイコン

GVC3212 ステータスアイコンは、GVC3212 LCD ディスプレイデバイス上の上部ステータスバーの右側に表示されます。

表 5: GVC3212 ステータスアイコン説明

アイコン	説明
	イーサネットが接続されました
	IPVideoTalkアカウントが登録されました
	Wi-Fi が接続されました
	外部USBデバイスが接続されました
	ワイヤレスディスプレイが有効です
	DND（着信拒否）が有効です

オンスクリーンキーボードの使用

英語キーボード

これはGVC3212のデフォルトキーボードです。英語キーボードは多言語入力方法をサポートします。

下記図を参照ください。:



図 10: ソフトキーボード - 英語入力方法

注意:  をタップしてCaps Lockを切り替えてください。:

数字と記号

数字と記号を入力するため、デフォルトキーボードの  ボタンをタップし、数字と記号を切り替えます。



図 11: ソフトキーボード – 記号と数字

ホーム画面

GVC3212 ホーム画面でユーザーがダイヤル、インスタント・ミーティング、連絡先、設定、スケジュール画面に容易にアクセスできるようアイコンが表示されます。

GVC3212のリモコンのナビゲーションキーを押し、各オプション機能を選択します。

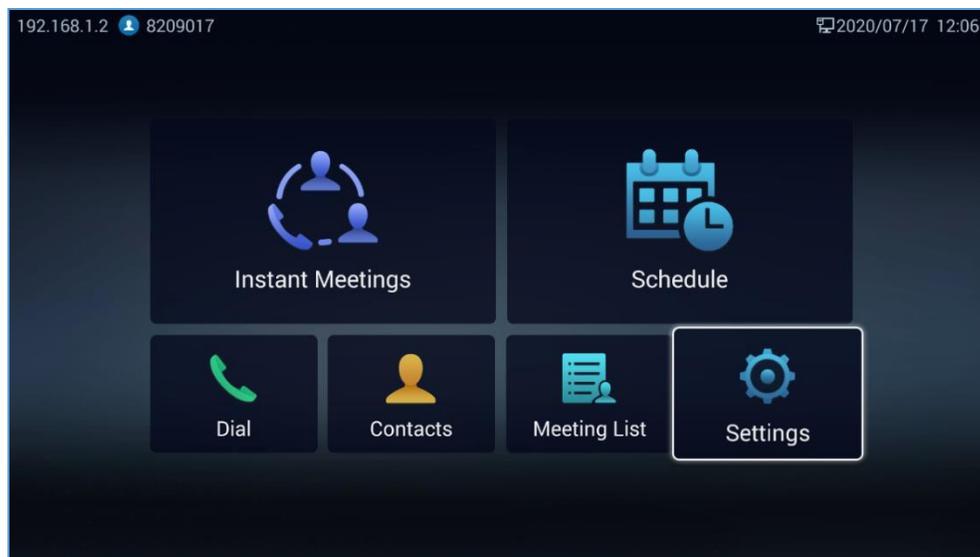


図 12: GVC3212 ホーム画面

GVC3212メニュー

全てのメニューがオプションリストで開かれています。矢印キーを押し希望のメニューオプションに移動します。それから“OK”を押し、次のオプションにアクセスするか設定を表示します。前回のメニューアイテムに移動します。前回のメニューに戻る場合は  (戻る) ボタンを押します。



GVC3212 画面設定

ベーシックセッティング

ユーザーは、GVC3212の言語とタイムゾーン、電源管理とHDMI セットアップを設定できます。
 画面メニュー → **Settings** (設定) → **Basic Settings** (基本設定) を選択します。

言語 & タイムゾーン

このセクションでは、ユーザーは、表示言語、NTPサーバー、時刻、タイムゾーンなどの設定を選択できます。

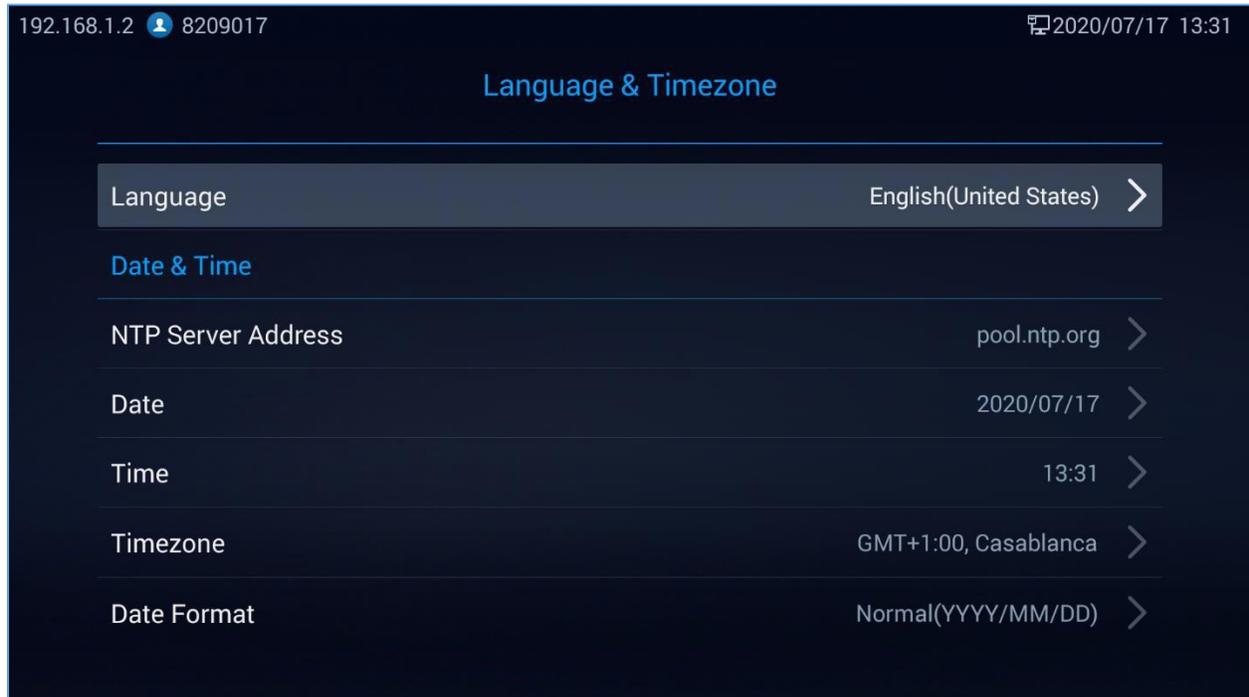


図 13 : GVC3212 言語とタイムゾーン設定

電源管理

ユーザーは、**OK**ボタンを押すことにより電源管理の、**Auto sleep** (自動スリープ) を設定できます。それからユニットが自動でスリープになる時間を選択できます。

この設定は、**never** (しない) を選択することにより無効できます。





図14: 電源管理

HDMI

ユーザーは、解像度、画面比率を設定しHDMI出力ディスプレイから出力できます。

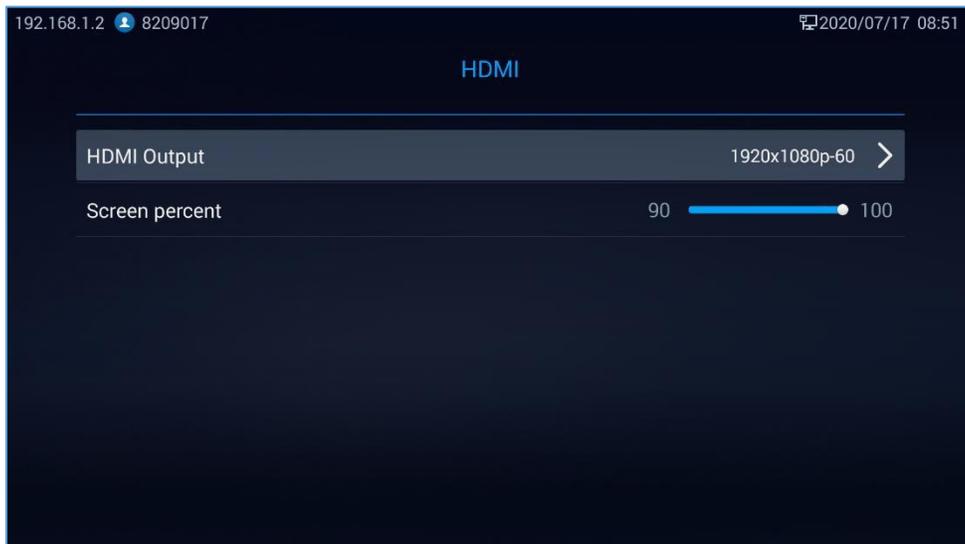


図15: HDMI セットアップ

- **HDMI Output (HDMI Out/出力)** : HDMI出力の解像度をサポートされている最大1080pまで設定できます。デフォルト1080p-60 fps (テレビの解像度によります)
- **Screen percent (画面比率)** : この機能は、左右キーで画面を調整し、GVC3212の出力ディスプレイサイズを出力画面のフルサイズまで拡大、またはユーザーの好みにより(最小 90%)に圧縮することができます。



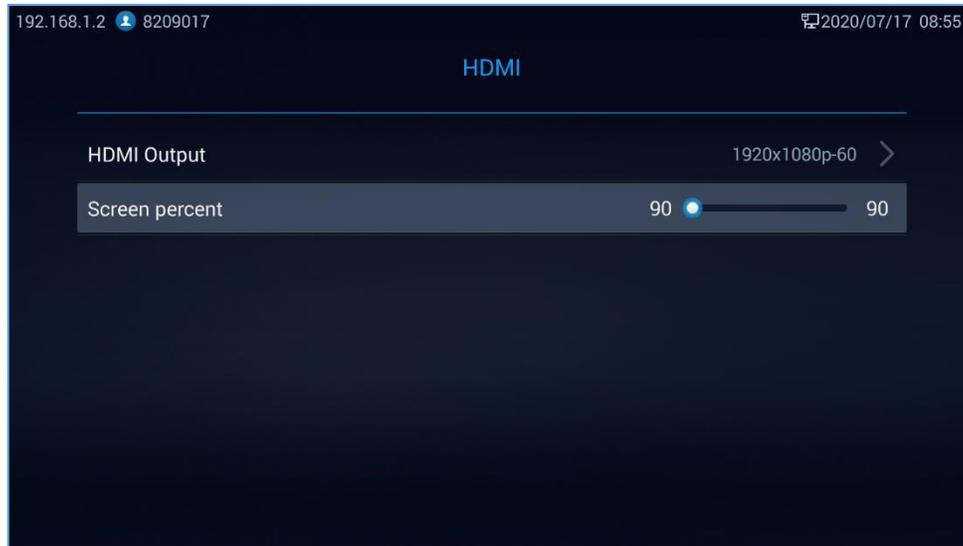


図16: 画面比率

ネットワーク設定

GVC3212は、様々なネットワーク接続 (イーサネット, Wi-Fi) をサポートし、Wi-Fiを通してGVC3212へ他のデバイスの画面を共有するWi-Fi ディスプレイ機能を装備しています。

イーサネット

ユーザーがネットワークアクセスのためイーサネット接続を使用したい場合は、イーサネットケーブルをGVC3212背面のLAN ポートに接続します。イーサネット接続はデフォルトでIPv4とIPv6プロトコルによるDHCPを利用可能にします。GVC3212のイーサネットを設定するため、**画面メニュー** → **Settings (設定)** → **Network (ネットワーク)** → **Ethernet**を選択します。

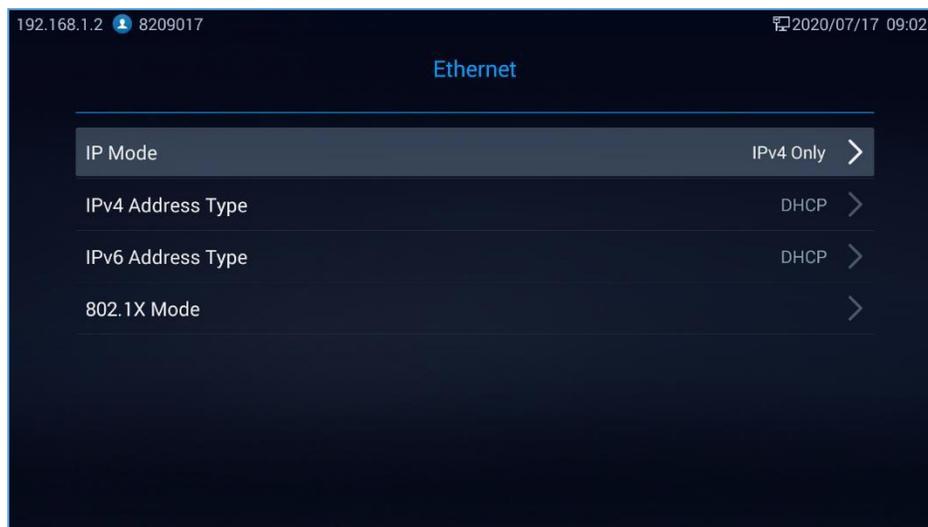


図17: Ethernet設定



GVC3212 は好みのインターネットプロトコル IPv4 またはIPv6を設定する、または優先選択が可能です。

1. IPv4の使用:

以下のステップに従いIPv4 プロトコルを使用しGVC3212 を設定します。:

1. イーサネットケーブルをGVC3212.背面のLANポートに接続します。
2. 画面メニュー → **Settings (設定)** → **Network (ネットワーク)** → **Ethernet** → **IPv4 Address Type (IPv4アドレスタイプ)** を選択します。
3. "IPv4 Address Type" (**IPv4アドレスタイプ**) にてDHCP, Static IP (静的 IP) またはPPPoE を選択するためアドレスタイプを選択します。
 - DHCPで設定を保存することにより、GVC3212はネットワークのDHCP サーバーから IPアドレスを取得することができます。

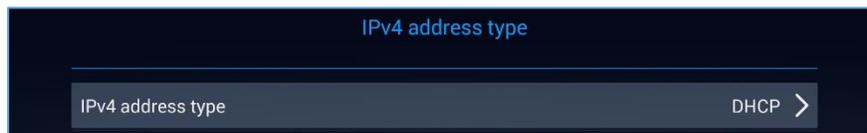


図 18: IPv4 セッティング - DHCP

- Static IP (静的IP) を設定するには IPv4 Address Type (IPv4アドレスタイプ) を選択し、**Static IP (静的IP)** を選択します。
- GVC3212をネットワークに正しく接続するためIP address (IPアドレス)、Subnet mask (サブネットマスク)、Default gateway (デフォルトゲートウェイ)、DNS server1と2 (DNS サーバー1と2) を入力します。



図19: IPv4 設定 – Static IP(静的IP)



- PPPoEを設定するには、PPPoE account ID (PPPoEアカウント ID) とパスワードを入力し、GVC3212 がPPPoE サーバーからIPアドレスを取得できるようにします。



図20: IPv4 セットアップ - PPPoE

注意:

- OK ボタンを押し、IPv4 アドレスタイプ から DHCP, 静的IPまたはPPPoEを選択します。
- 右矢印ナビゲーションキーを押し、サイドバーを開きそして**save (保存)** を押して設定を保存します。
- **Back (戻る)** キーを押すと、設定変更をキャンセルします。

2. IPv6の使用:

以下のステップに従い GVC3212で使用するIPv6プロトコルを設定します:

1. GVC3212背面のLANポートにインターネットケーブルを接続します。
2. LCD画面 → **Settings (設定)** → **Network (ネットワーク)** → **Ethernet** → **IPv6 Address Type (IPv6アドレスタイプ)** に進みます
3. DHCP または**Static IP (静的 IP)** を選択します。
 - DHCPで設定を保存すると、GVC3212は、ネットワークの DHCP サーバーから、IPアドレスを取得することができます。

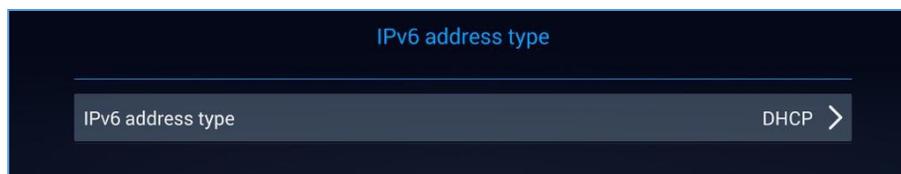


図 21: IPv6 セットアップ - DHCP

- 静的IPを設定するには静的IPを選択し、静的IPv6 アドレス, 画像モード、IPv6 接頭文字長、DNS サーバー 1, DNS サーバー 2 を入力します。





図 22: IPv6 設定- 静的IP

注意:

- 右矢印ナビゲーションキーを押し、サイドバーをオープンし、**save (保存)** を押し設定を保存します。
- 設定変更をキャンセルするには**Back (戻る)** ボタンを押します。

3. 802.1X モード:

ユーザーは、**Settings (設定) → Network (ネットワーク) → Ethernet → 802.1X Mode(モード)**の項目で802.1xを設定できます。デフォルトで、802.1xは無効化されています。ユーザーは、"EAP-MD5", "EAP-TLS5" または "EAP-PEAP" を選択し、802.1xモードを設定し有効化することができます。一旦有効化すると、ユーザーは、ネットワークの認証のためIDとパスワードの入力が要求されます。



図 23: 802.1X モード



図 24: 802.1X - EAP-MD5

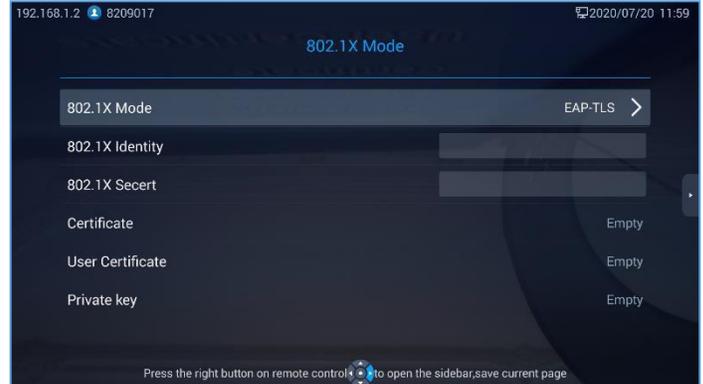


図 25: 802.1X - EAP-TLS

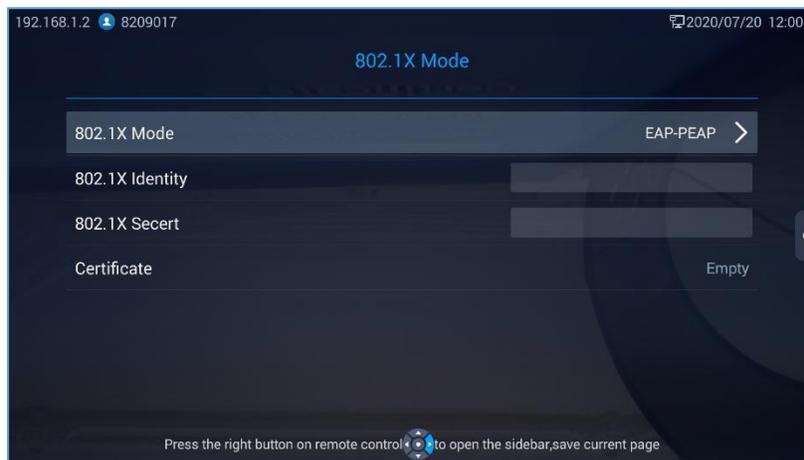


図 26: 802.1X - EAP-PEAP

表 6: GVC3212 802.1X モード パラメータ

パラメータ	説明
802.1x Mode (モード)	ユーザーは、802.1xを有効化/無効化し、そして802.1xモードを設定できます。デフォルト設定は、無効です。
Identity (認証ID)	802.1xモード用の認証IDを入力
802.1X Secret	802.1xモード用のパスワードを入力
Certificate (証明書)	802.1xモード用証明書をアップロード
User Certificate (ユーザー証明書)	802.1xモード用ユーザー認証をアップロード
Private Key (プライベートキー)	802.1xモード用プライベートキー



Wi-Fi

ユーザーは、**Settings**（設定） → **Network**（ネットワーク） → **Wi-Fi**の項目でWi-Fiを有効化し設定することができます。

- **Wi-Fi有効化/無効化:**

一旦Wi-Fiをオン(有効化)にすると、GVC3212は、自動的にエリア内のスキャンを開始します。Wi-Fiネットワークのリストがスキャン結果として表示されます。SSIDを選択し、正しいパスワード情報を入力し、選択されたWi-Fiネットワークに接続します。



図 27: GVC3212 Wi-Fi 有効化

リモコンの右矢印キーで**Scan**を押し、ユーザーは利用可能なネットワークをスキャンします。 **Add network**（ネットワークの追加）または **Advanced**（拡張）を選択します。

- **Add Network**（ネットワークの追加）：

ユーザーは、**Add Network**（ネットワークの追加）を押し隠れたネットワーク情報を追加できます。



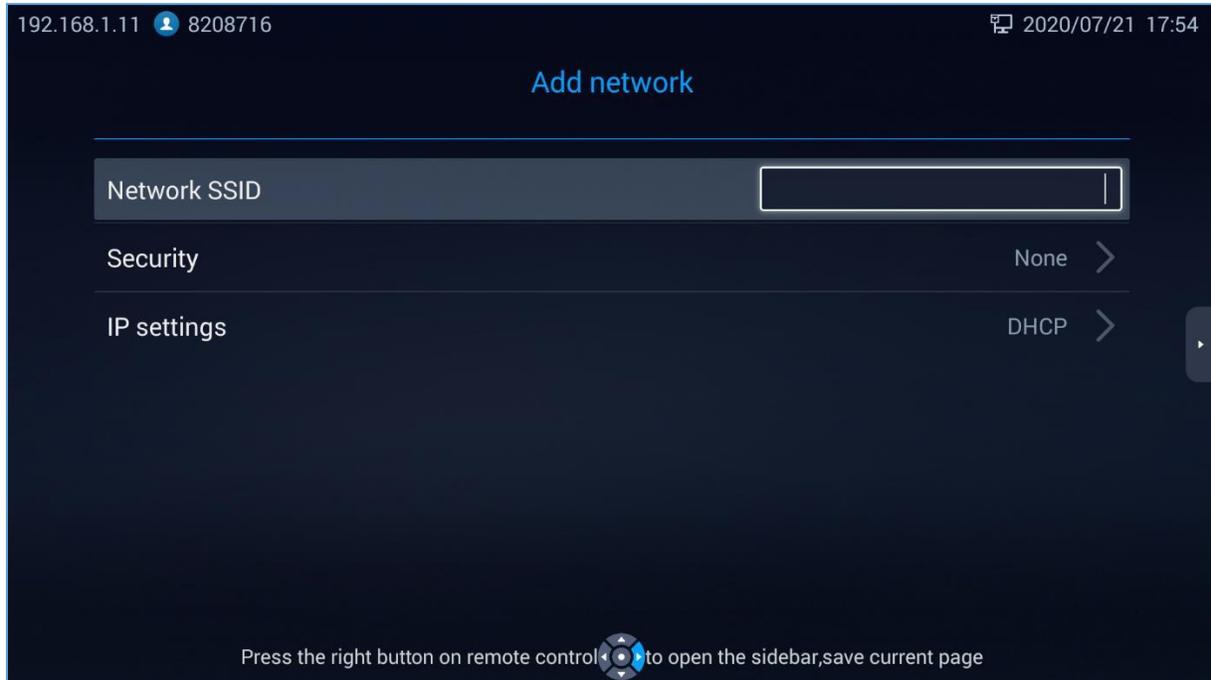


図 28: ネットワークの追加

- **Advanced (拡張) :**

このページでは、ユーザーは、**Network Notification (ネットワーク通知)** を有効化/無効化することができます。ネットワークカードの **MAC address (MACアドレス)** , **IP address (IPアドレス)** と **country code (国別コード)** を確認してください。

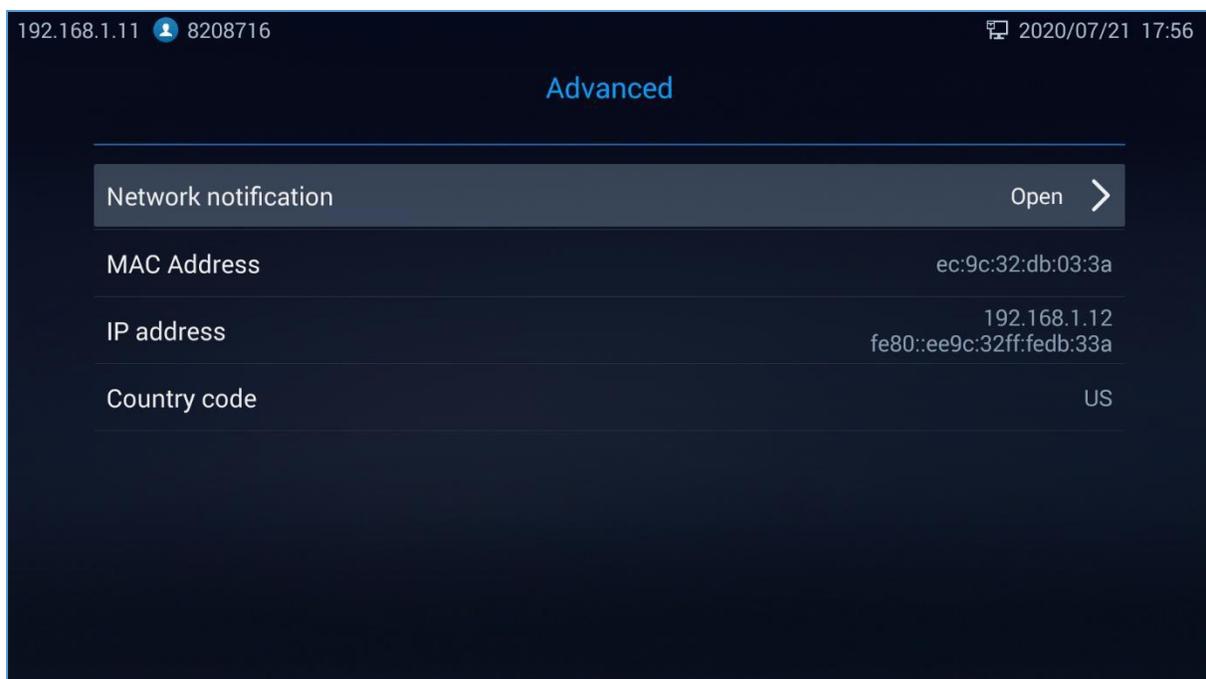


図 29 : 拡張 Wi-Fi 設定



Wi-Fi ディスプレイ

Wi-Fi を介してGVC3212に他のデバイスの画像を表示するWi-Fi ディスプレイ機能が利用可能です。ユーザーは最初のステップとしてWi-Fi を有効にし、それからWi-Fi ディスプレイ機能をオンにし、Wi-Fiを介して他のデバイスを接続します。:



図 30: Wi-Fi ディスプレイ

画面を投影したいデバイス上でワイヤレスディスプレイを有効にします。デバイスの利用可能なデバイスリストの中にGVC3212が表示されます。GVC3212上でインビテーションを承諾すると直ちに、ワイヤレス接続が開始されます。

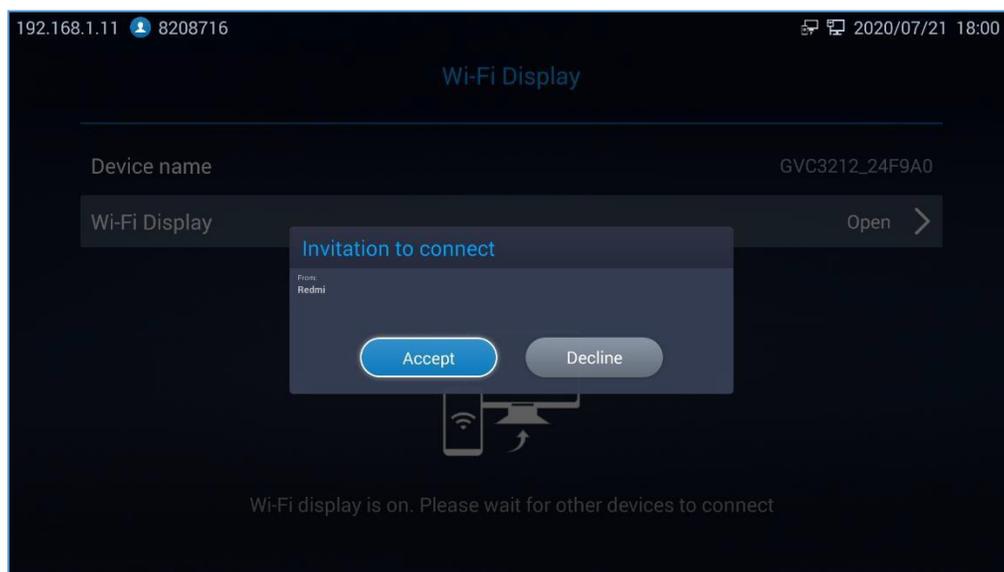


図 31: 画像共有インビテーション

LLDPとVLAN 設定

GVC3212のホーム画面で、**Settings**（設定） → **Network**（ネットワーク） → **Other Network Settings**（その他のネットワーク設定）にアクセスし → GVC3212のLLDPとVLAN を設定します。

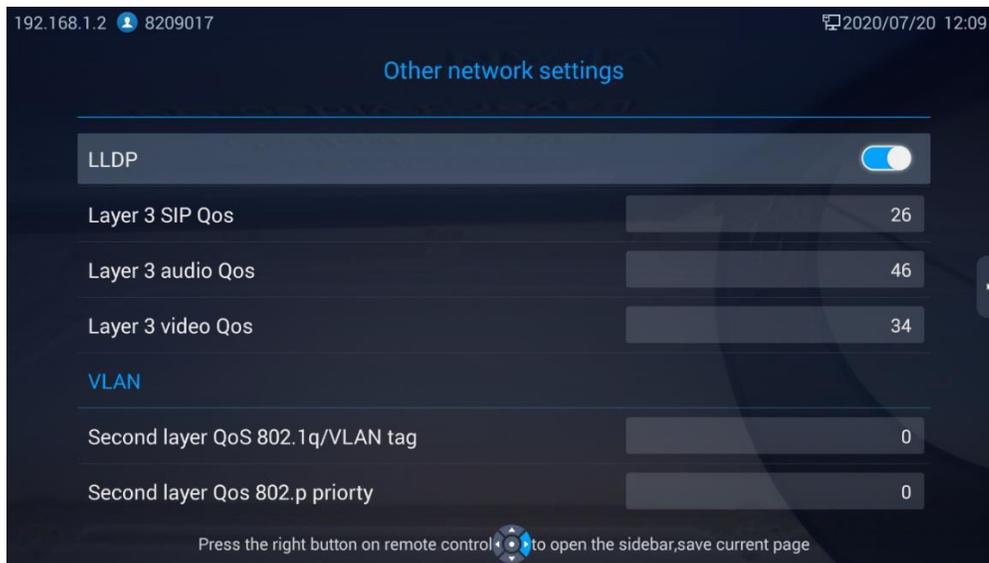


図 32: LLDP/VLAN 設定

注意:

- 右矢印ナビゲーションキーを押し、サイドバーを開き **save**（保存）を押して現在の設定を保存します。
- **Back**（戻る）キーを押し、**設定変更**をキャンセルします。

表7: GVC3212 LLDP設定 パラメータ

パラメータ	説明
LLDP	
LLDP	LLDPを有効または無効にします。デフォルト設定は、“Open”（開く）です。
Layer（レイヤー） 3 SIP QoS	この項目は、SIPパケット用のレイヤー3 QoS パラメータを定義します。この値はIP Precedence, Diff-Serv または MPLS用で使用されます。デフォルト値は、26
Layer（レイヤー） 3 Audio QoS	この項目はオーディオパケット用にレイヤー 3 QoS パラメータとして使用されます。この値はIP Precedence, Diff-Serv または MPLS用に使用されます。デフォルト値：46
Layer（レイヤー） 3 Video QoS	この項目はビデオパケット用にレイヤー 3 QoS パラメータとして使用されます。この値はIP Precedence, Diff-Serv または MPLS用に使用されます。デフォルト値：34
VLAN	
Second layer（レイヤー2） QoS 802.1q/VLAN Tag（タグ）	レイヤー2 QoSパケットのVLANタグをLAN ポートに割り当てます。デフォルト値：0。注意：VLAN設定を理解、またはネットワーク管理者に相談する前に設定を変更しないでください。そうでなければデバイスは、正しいIPアドレスを取得できないかもしれません。



Second layer

QoS 802.1p

レイヤー 2 QoS パケットにプライオリティ値を割り当てます。デフォルト : 0.

Priority

状態

ユーザーは、ネットワーク、ソフトウェアとハードウェアの状態を **画面メニュー** → **Settings (設定)** - **> Status (状態)** にアクセスしチェックすることができます。

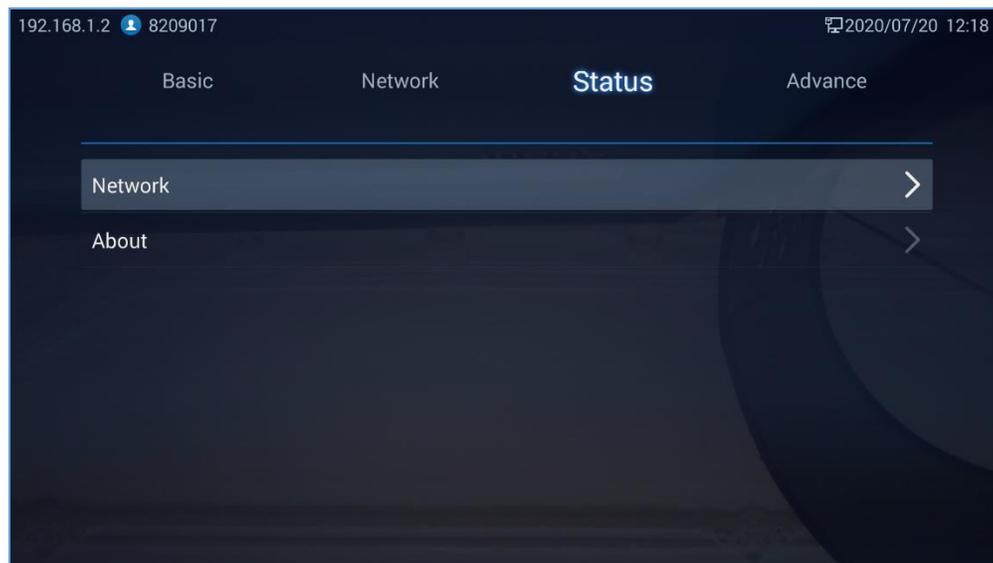


図 33 : Status (状態)

管理者設定

IPVideoTalk アカウント

GVC3212にはIPVideoTalk アカウントが装備されています。IPVideoTalkアカウントは、画面メニュー → **Settings (設定)** → **Advance (管理者設定)** → **Account (アカウント)** で設定します。IPVideoTalkアカウントの登録が成功すると以下のように表示されます。(IPVideoTalk IDと共にアカウントアイコンが青く表示されます)



図34 : 登録済IPVideoTalk アカウント

アカウントページにて ユーザーは、表示名、有効/無効、自動応答などのIPVideoTalkセッティングを設定します。 IPVideoTalkサーバーアドレスをセットし、登録されたIPVideoTalkの詳細や現在のプラン情報をチェックします。



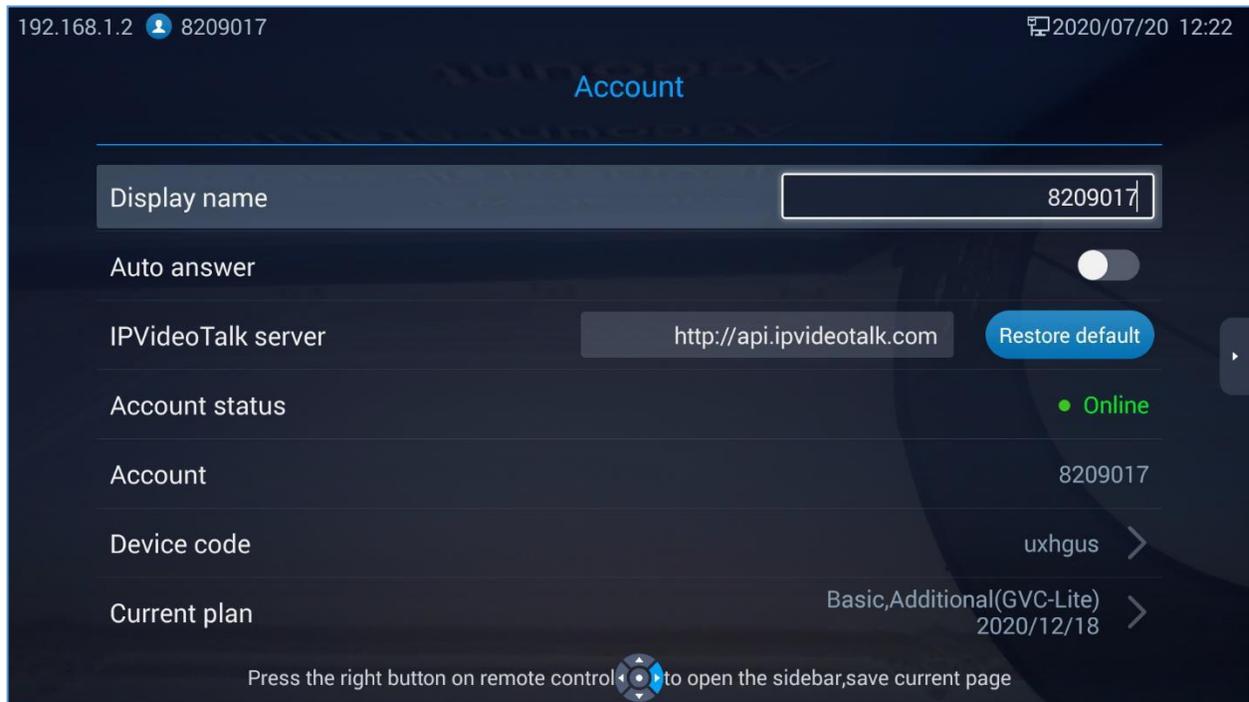


図35: IPVideoTalk アカウント情報

上記画面の通り“Device code”（デバイスコード）が確認できます。この一意のコードはGVC3212がIPVideoTalk アカウントとリンクしミーティングを管理、計画するため利用されます。

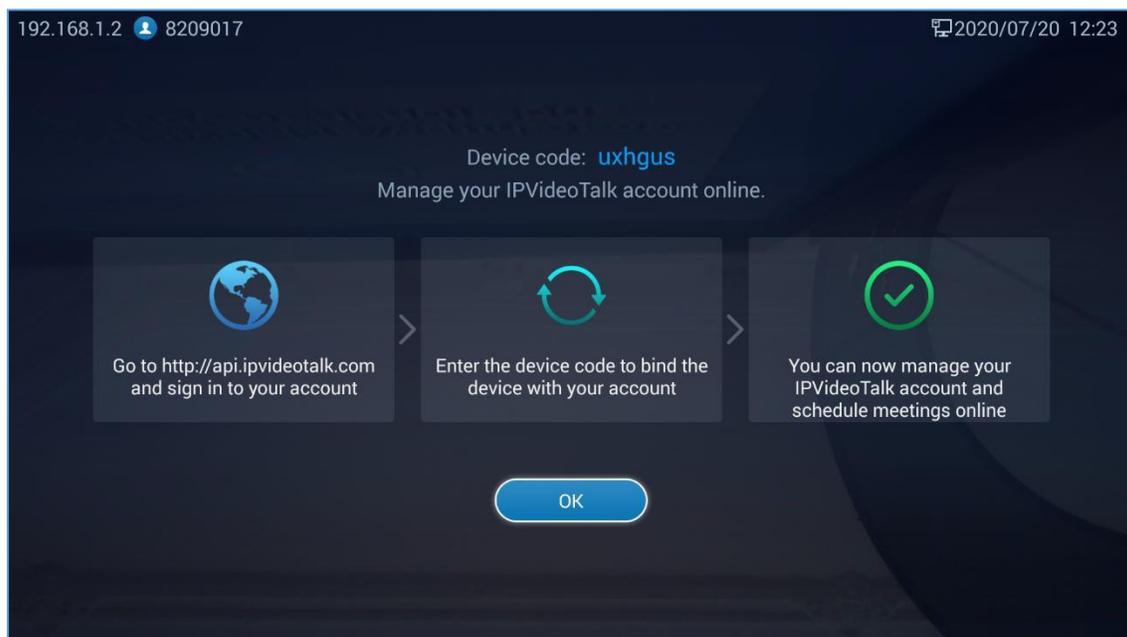


図36: デバイスコード

メンテナンスおよびアップグレード

1. アップグレード設定：

ユーザーは、ファームウェアアップグレードと設定ファイルダウンロードを画面メニュー → **Settings** (設定) → **Advance** (管理者設定) → **Maintenance and Upgrade** (メンテナンスおよびアップグレード) → **Upgrade.** (アップグレード) から設定できます。

このセクションでは、“Version Detection” (新規バージョンの検出) オプションを押すことで検出される新ファームウェアバージョンがファームウェアサーバーパスにアップロードされているかどうかをチェックします。または、“Settings” (設定) を押すことによりアップグレード設定を設定します。：

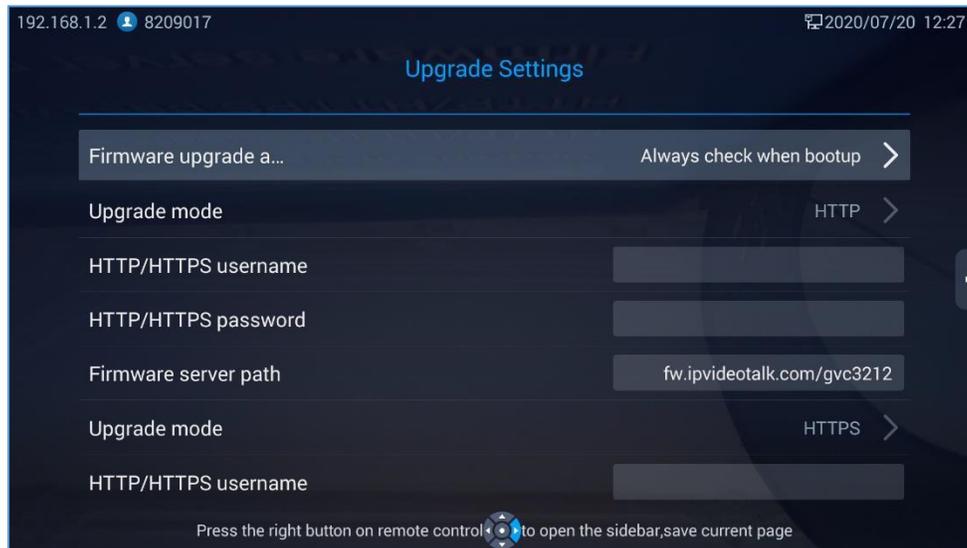


図37: アップグレード設定

- Firmware and configuration files detection (ファームウェア更新とプロビジョニング)**
 いつアップグレードをするか、プロビジョニングを開始するかを設定します。ユーザーは“Always Check When Bootup” (起動時は常に確認)、“When firmware/config file pre/suffix changes” (ファームウェア/設定ファイルのプレフィックス/サフィックスが変更された時) または “Skip the Firmware Check” (ファームウェアの確認をスキップ) を選択します。
- Firmware Upgrade Mode (ファームウェアアップグレードモード)：**
 ファームウェアアップグレード用のアップグレードモードを選択します。ユーザーは、TFTP, HTTP または HTTPSを選択できます。デフォルト：HTTPS。
- Firmware HTTP/HTTPS Username (ファームウェアHTTP/HTTPSユーザー名)**
 ファームウェアサーバー用HTTP/HTTPSがユーザー認証モードを使用する場合は、ユーザー名を入力します。
- Firmware HTTP/HTTPS Password (ファームウェアHTTP/HTTPSパスワード)**
 ファームウェアサーバー用HTTP/HTTPSがユーザー認証モードを使用する場合は、パスワードを入力します。
- Firmware Server Path (ファームウェアサーバーパス)**
 ファームウェアサーバー用サーバーパスを設定します。デフォルト設定は、“fm.ipvideotalk.com/gvc3212”。
- Config Upgrade Mode (アップグレードモードの設定)**
 コンフィグファイルプロビジョニング用のアップグレードモードをTFTP, HTTP, HTTPSから選択し



ます。デフォルトはHTTPS

- **Config HTTP/HTTPS Username (HTTP/HTTPSユーザー名)**

コンフィグサーバー用にHTTP/HTTPSがユーザー認証モードを使用する場合、ユーザー名を入力します。

- **Config HTTP/HTTPS Password (HTTP/HTTPSパスワード)**

コンフィグサーバー用HTTP/HTTPSがユーザー認証モードを使用する場合、パスワードを入力します。

- **Config Server Path (設定サーバーパス)**

コンフィグファイルサーバー用のサーバーパスを設定します。デフォルト設定は“fm.ipvideotalk.com/gvc3212”。

注意:

- 右矢印ナビゲーションキーを押し、サイドバーを空け、**save (保存)** を押して現在の設定を保存します。
- **Back (戻る)** キーを押し、設定変更をキャンセルします。

2. One click debugging (ワンクリック・デバッグ処理) :

ユーザーはこのセクションでデバッグを開始し、トラブルシューティング用にデバイスログを取得することが可能です。全ての取得ファイルは、外部USBストレージに保存可能です。

Start (開始) ボタンを押し、デバッグを開始することができます。

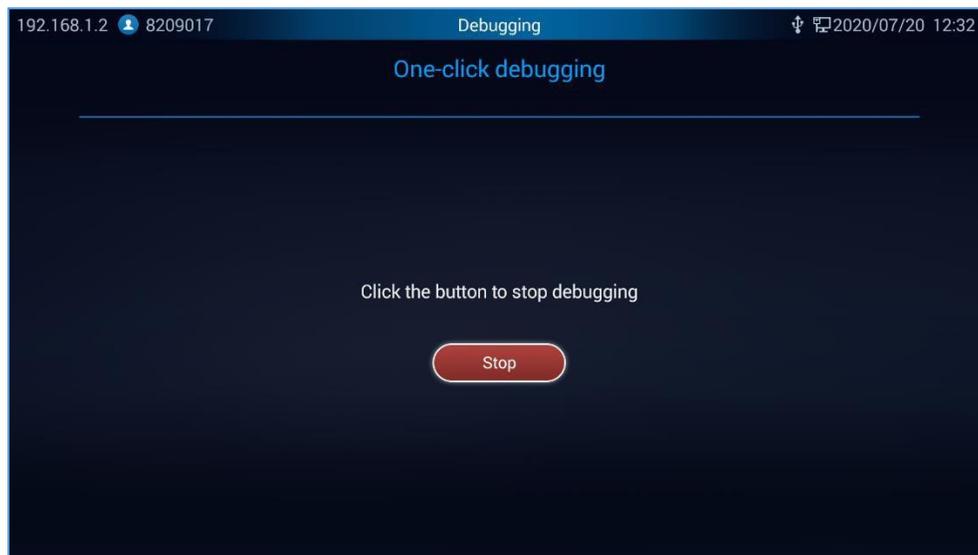


図38: ワンクリックデバッグ

ユーザーは、**Stop (停止)** ボタンを押し、デバッグを停止することができます。一旦デバッグが停止されると、ユーザーは、USBデバイスを取り出し、ファイルをチェックすることができます。

3. State Detection (状態検出)

状態検出ページは、デバイスのインタフェース接続、ネットワークとアカウント状況についてのビジュアルインフォメーションを提供します。また画面を下にスクロールし、**Audio Detection (音声検出)** の項目でユーザーは、**Play (再生) / Start (開始)** を選択し、内蔵マイクが使用できるかどうかのテストを実施できます。



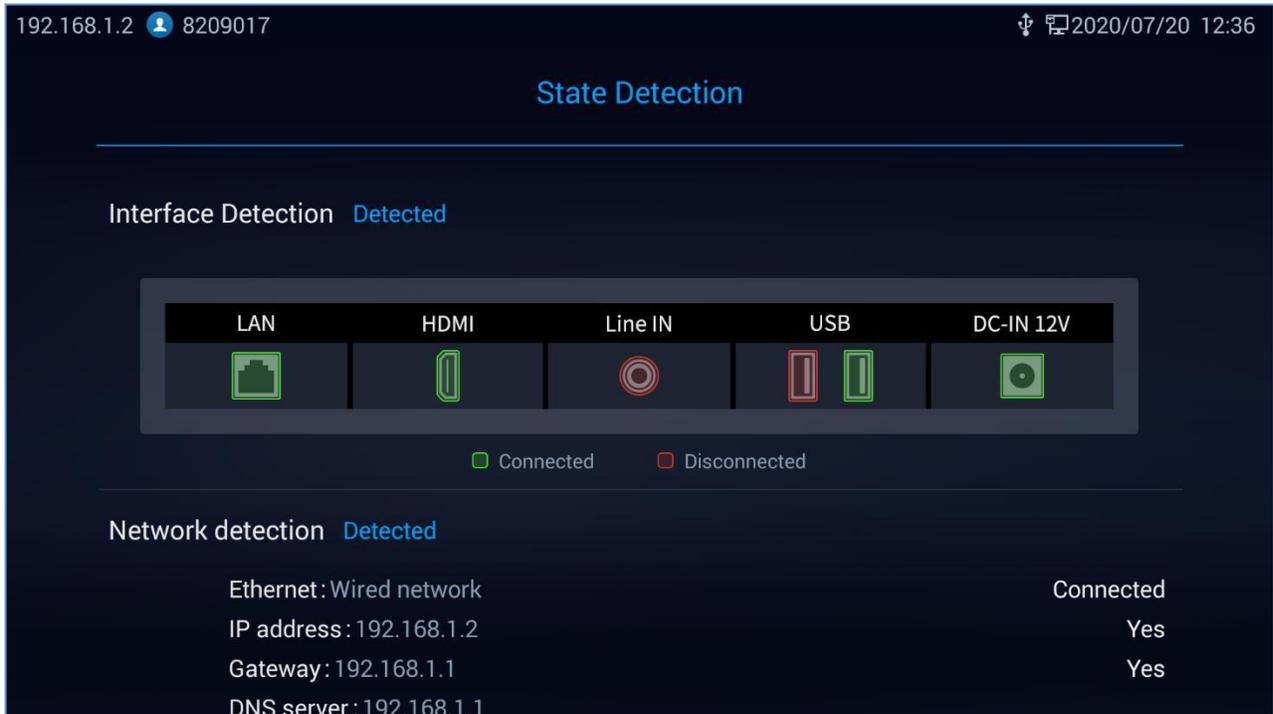


図39: 状態検出

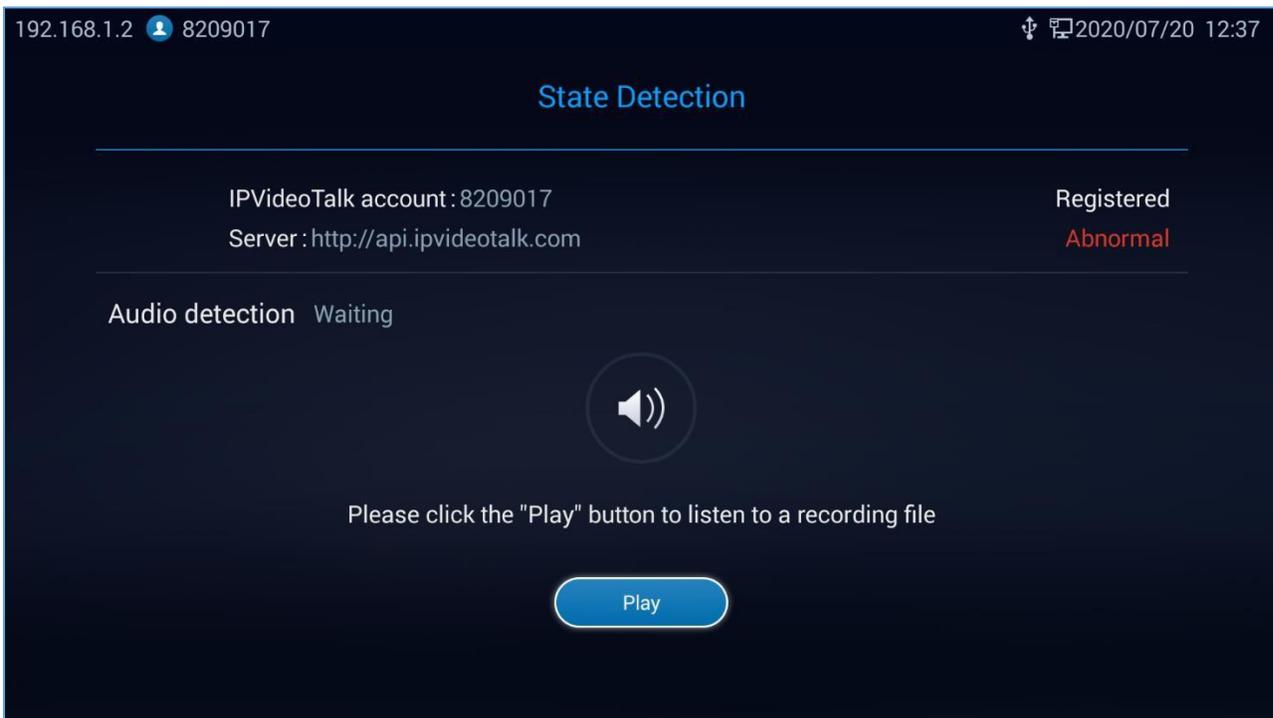


図 40 : 音声検出

工場出荷設定に戻す

ユーザーは、**Factory Reset**（工場出荷設定に戻す） オプションを押し、デバイスを工場出荷設定へ復旧させることができます。プロンプトメッセージがユーザーに工場出荷設定に戻すかどうかの確認のため表示されます。もしユーザーが、**OK**を選択すると、全ての設定とユーザーデータが失われます。

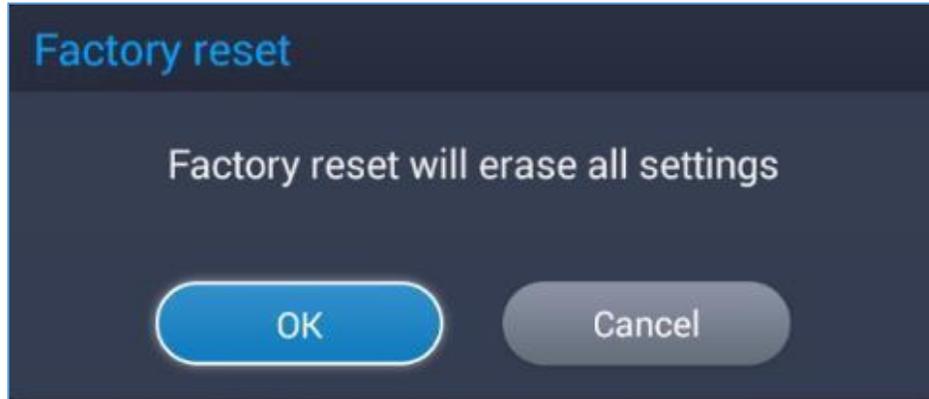


図 41: 工場出荷設定に戻す

IPVIDEOTALK 会議

GVC3212はIPVideoTalk会議をサポートします。そして会議を開始するホストになる、または参加者として他の会議に参加することができます。

会議を開始する

様々な方法で会議を開始することができます。:

- **通話画面から:**
 1. **画面メニュー → Dial (ダイヤル)** から通話画面にアクセスします。
 2. テキストボックスにリモコンを使用して数字を入力する、また以下のリストから参加者を選択します。ダイヤル画面で、ダイヤルアップボックスに数字を入力します。数字または文字が、GVC3212の連絡帳と発着信履歴と一致した場合、数字のドロップダウンリストが表示されます。例えば、5 (JKL), 6 (MNO), 4 (GHI) and 6 (MNO)の入力は“5646”または連絡先に“john”がある場合、“john”が表示されます。一致する文字が赤字で強調されます。
 3. リモコンの  (発信) ボタンを押すか、画面上の  (ダイヤルアウト) を選択します。
- **スケジュールから:**
 詳細は **Schedule New Meetings** (新しいミーティングを予約) を参照してください。
- **インスタント・ミーティング**
 ユーザーは、パーソナル会議室を開きすぐミーティングを始めることができます
画面メニュー → Instant Meetings (インスタント・ミーティング) から直接パーソナル会議室を開き会議を開始できます。

会議中の着信に応答する

GVC3212で着信をどのように扱うか、設定によりGVC3210が自動着信応答するか、手動で着信に応答するかを指定できます。

画面メニュー → **Advanced Setting(管理者設定) → Account,(アカウント)**にて、**Auto Answer** (自動応答) オプションを有効にすると、IPVideoTalkに自動応答します。自動応答が無効化されると、ユーザーは手動で会議招待を受諾または拒否できます。

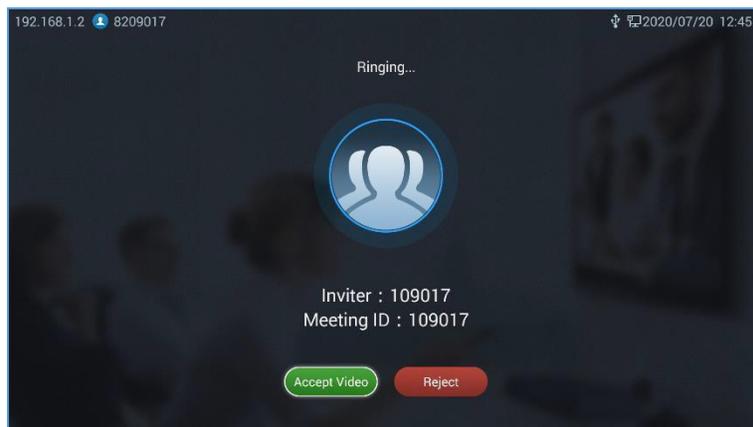


図 42 : IPVideoTalk コール着信



会議ホストがコールに応答すると、発信者は開催中の会議に参加できます。

会議マネジメント

通話画面の下段に、メニューオプションのアイコンリストが表示されます。このメニューは5秒間操作がないと自動的に非表示になります。いずれかのキーを押すとメニューオプションを再表示されます。

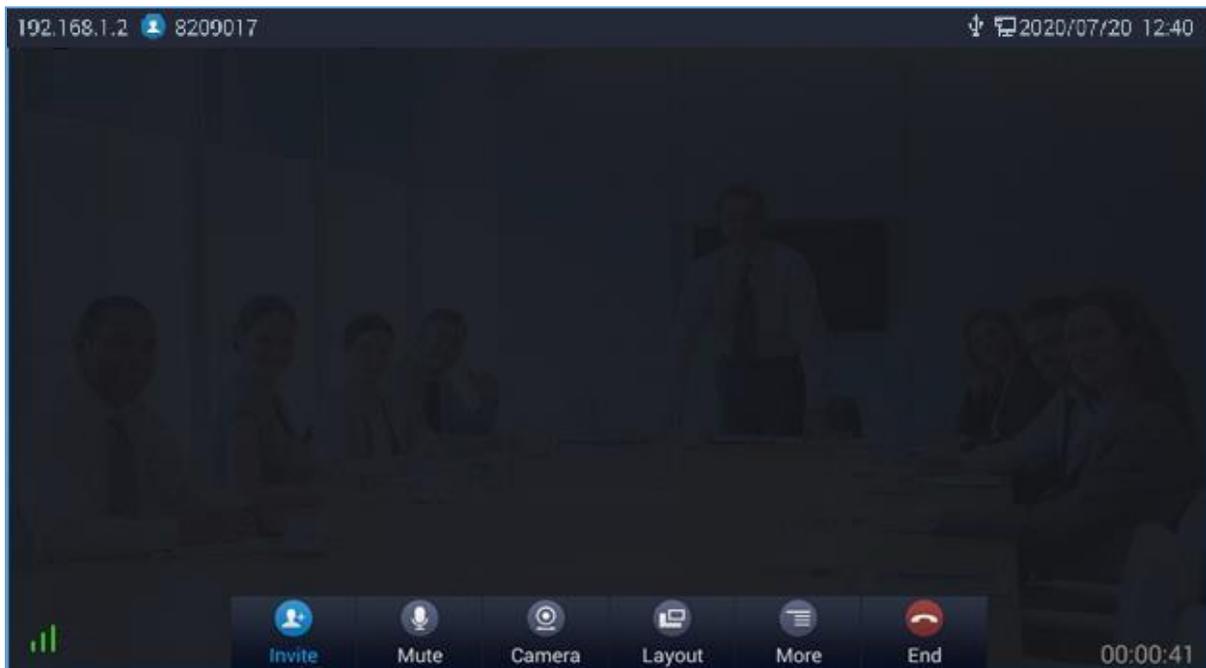


図 43: GVC3212 3拠点 IPVideoTalk 会議

以下の表にそれぞれのアイコンの機能を表示します。:

表 8: GVC3210 IPVT 通話画面下段メニューアイコン

アイコン	名前	定義
	Invite (招待)	企業連絡帳からでも、ダイヤル画面から数字をダイヤルする場合でも、新しい参加者を会議に招待・追加できます。
	Mute (ミュート)	ミュートすると、他の参加者にあなたの声が聞こえません。ボタンを再度押すとミュート解除になります。
	Camera (カメラ)	ローカルカメラをオン/オフします。
	Layout (レイアウト)	ビデオ通話用にビデオディスプレイのレイアウトを調整します。会議ホストは MeetingLayout , (ミーティングレイアウト)からレイアウトが選択できます。以下のレイアウトが利用可能です: Tile (タイル) : 全ての参加者のビデオがタイル表示 (等画面分割) されます。ビデオ表示参加者の数により自動調整されます。



		<p>1+N: 1個の大画面とN個の子画面 (ポーリングモード)を表示します。現在の話者が大画面に表示されます。</p>
	<p>More (もっと/詳細)</p>	<p>このオプションにより、会議ホストはRecord (レコード/録画) ボタンを押すことにより録画を開始することができます。録画データはIPVideoTalkクラウドのアカウントに保存されます。</p> <p>Open DTMF (DTMFを開く) オプションを押すと、DTMFダイヤル画面が表示されます。</p>
	<p>End (会議の終了)</p>	<p>会議ホストは、Leave alone(会議から退出)を押すことにより会議から退出することができます、この場合、会議は継続されます。またはEnd the meeting (ミーティングの終了)を押して会議を完全に終了させることができます。</p>

パーソナル会議室にアクセスする

画面メニュー → **InstantMeetings(インスタント・ミーティング)**からユーザーは、すぐにミーティングを始め、パーソナル会議室を開くことができます。

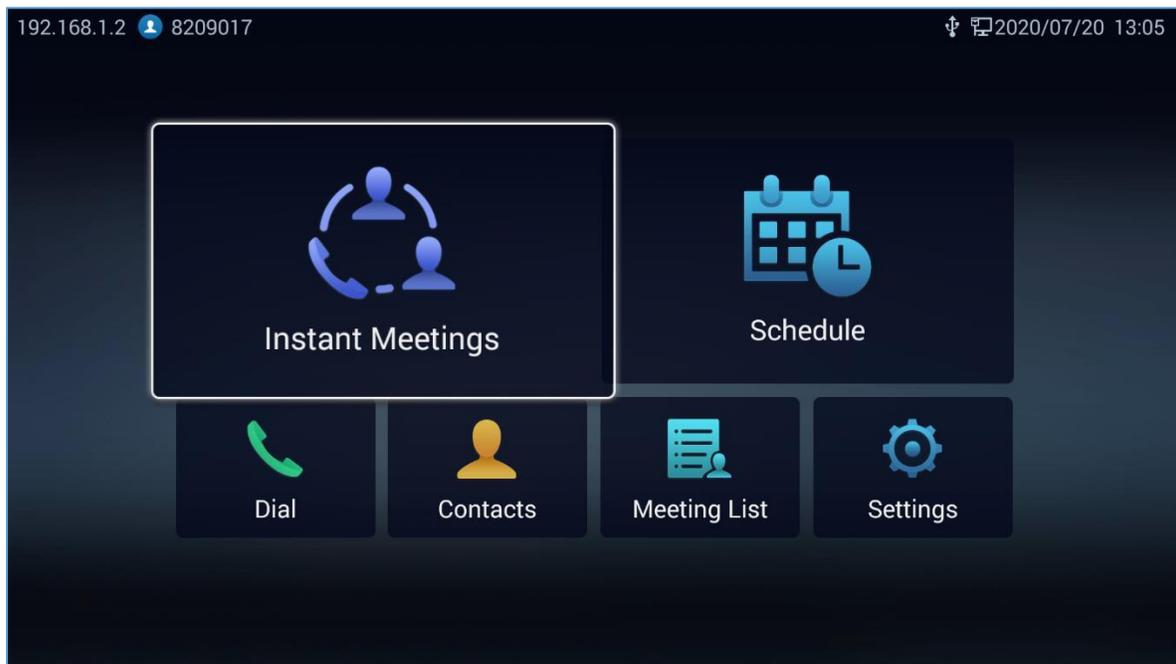


図 44: Instant meetings (インスタント・ミーティング)

不在着信

不在着信がある場合、ホーム画面のダイヤルアイコン  に不在着信数が表示されます。一旦ダイヤル画面にアクセスすると、リマインダーアイコンが消えます。



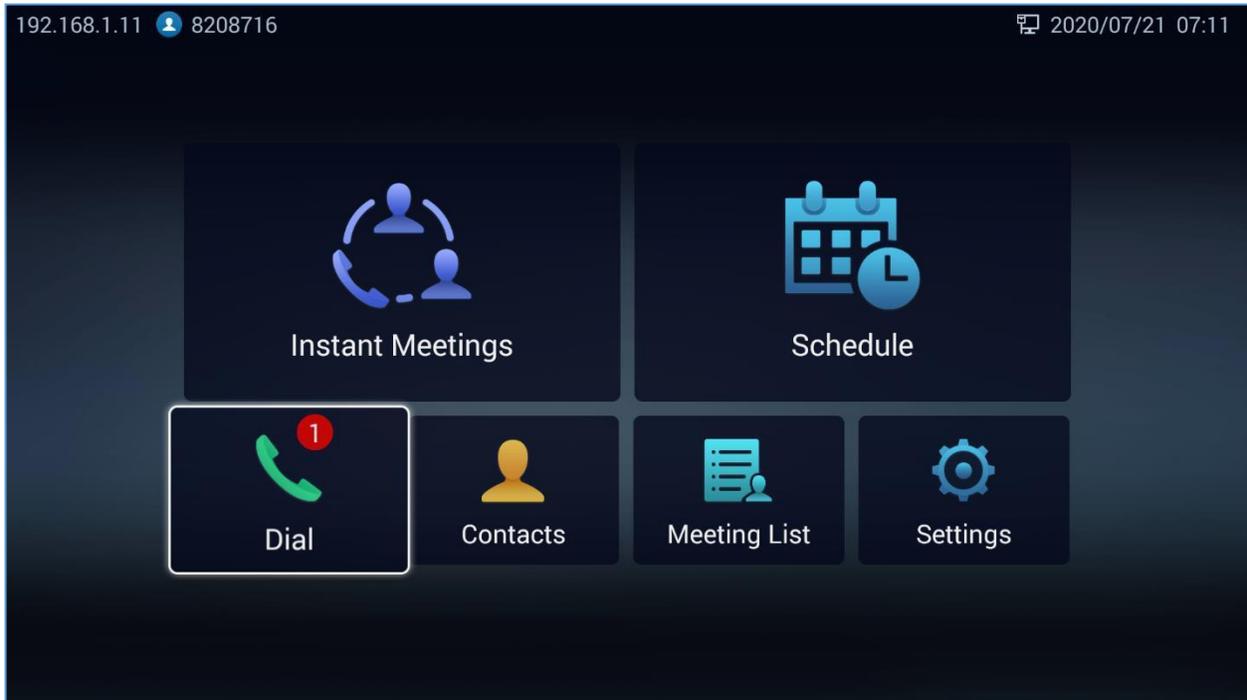


図 45: 不在着信通知

参加者を会議に招待する

ユーザーは以下の方法で参加者を追加することができます:

- 会議画面でInvite(招待)アイコン  をクリックし、それから **Corporate Contact** (エンタープライズ連絡先) を押し、企業連絡帳から参加者を追加するか、**Invite by dial number** (番号のダイヤルによる招待) を選択し番号から参加者を招待するかを選択します。一旦参加者がコールに応答すると、会議に自動的に接続されます。
- 参加者が会議番号をコールし、ホストが通話に応答すると、参加者が会議に自動的に追加されます。

もっと (詳細)

ユーザーは、**More** (もっと/詳細) ボタン  を押し、**Meeting Details** (ミーティングの詳細) を押すことにより、会議名、ミーティング ID、ミーティング URL、PSTN番号などのミーティングの詳細を確認できます。



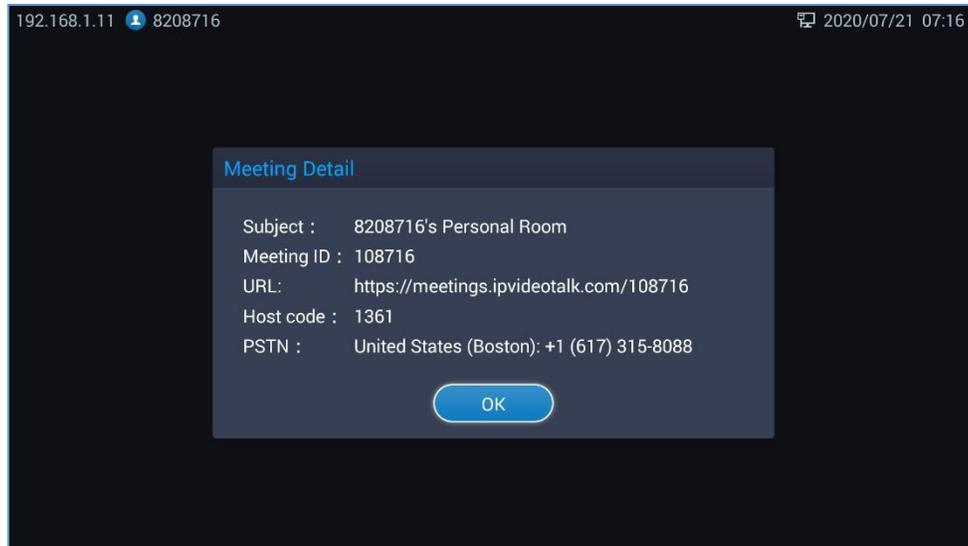


図 46 : Meeting Details (ミーティングの詳細)

DTMFを開く

ユーザーは、会議中DTMFをダイヤルすることができます。

1. 会議中、オプションのMore (もっと/詳細) ボタン  を押し、それからDTMFにダイヤルするため **Open DTMF(DTMFを開く)**を開きます

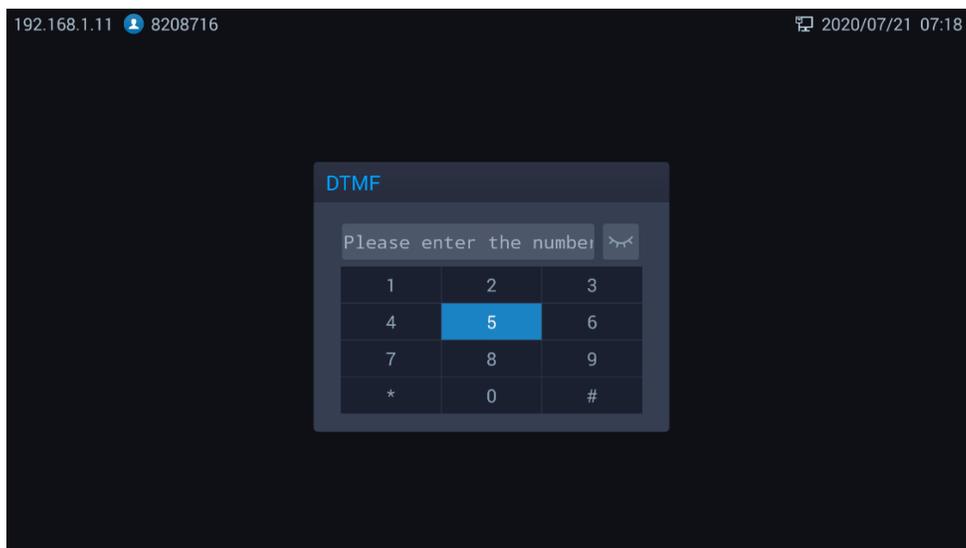


図 47: 会議 - DTMFダイヤル

2. リモコンのダイヤルキーを押し DTMF を入力します。それから # を押して送信するか リモコンの  戻るボタンを押して、必要に応じて操作をキャンセルします。

エコーディレイ

GVC3212でHDMI外部ディスプレイ（例：テレビ）と接続すると、通話中にエコーが発生する場合があります。エコーディレイ機能は、デバイスのHDMIオーディオディレイを他のテレビセットのオーディオレイテンシーと合うように調整します。

ミーティングホストは  ボタンを押し **Echo Delay**（エコーディレイ）を選択エコーディレイ機能を調整することができます。

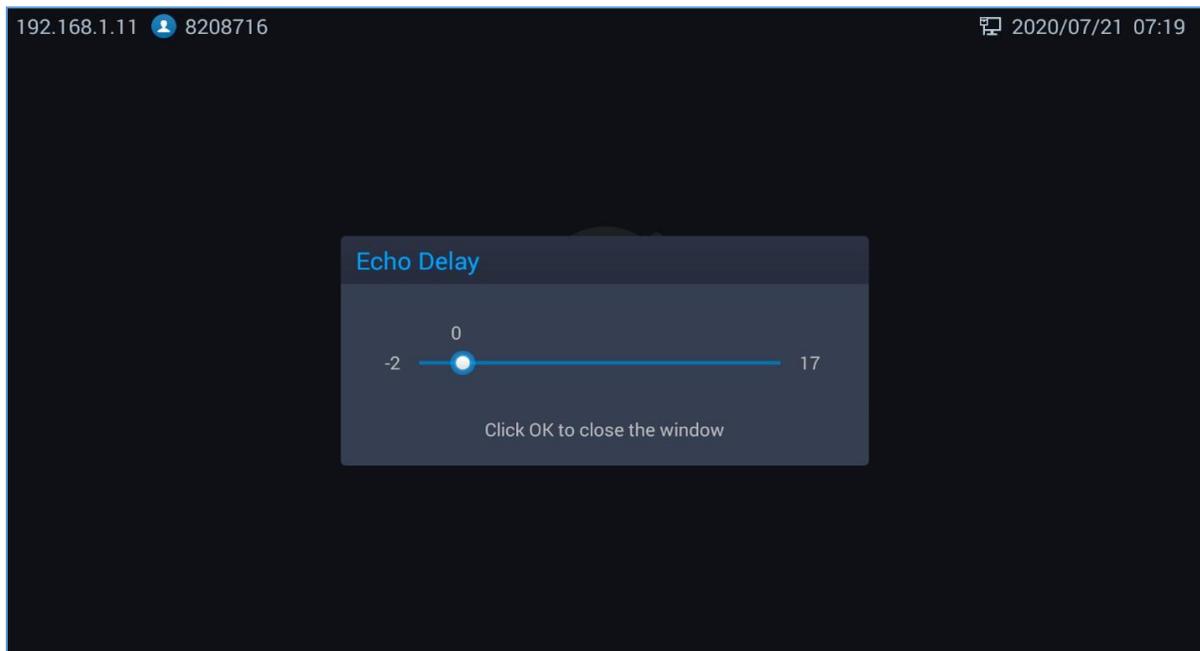


図48：Echo Delay（エコーディレイ）

会議の終了

会議を終了するには、会議の終了ボタン  を押すか、GVC3212リモコンの  ボタンを押し、それから“**Leave Alone**”（会議から退出）または“**End Meeting**”（ミーティングの終了）を選択します。GVC3212が会議ホストの場合：

- “**Leave Alone**”（会議から退出）を選択すると、GVCホストはIPVideoTalk会議を継続したまま会議から退出します。会議はミーティングリストから終了すること、“ミーティングを主催する”を選択し、再参加することができます。**注意**：会議はWebRTCホストにより終了することができます。またはその後Webポータルを通して管理することが可能です。
- “**End Meeting**”（会議を終了する）を選択し、IPVideoTalk会議を終了させることができます。そして全ての他の参加者は、IPVideoTalkサーバーから接続を解除されます。
- “**Cancel**”（キャンセル）を選択し、会議の終了をキャンセルし会議を継続することができます。
- そして会議参加者が通話を切った場合、会議から接続解除されますが、その他の会議の参加者は、会議に残ることができます。



新しいミーティングを予約

予約機能により、会議リマインダーと参加者、特定の時間を設定し事前に会議のホストを予約することができます。ユーザーは、画面メニュー → **Schedule** (スケジュール) から新しいミーティングを予約できます。

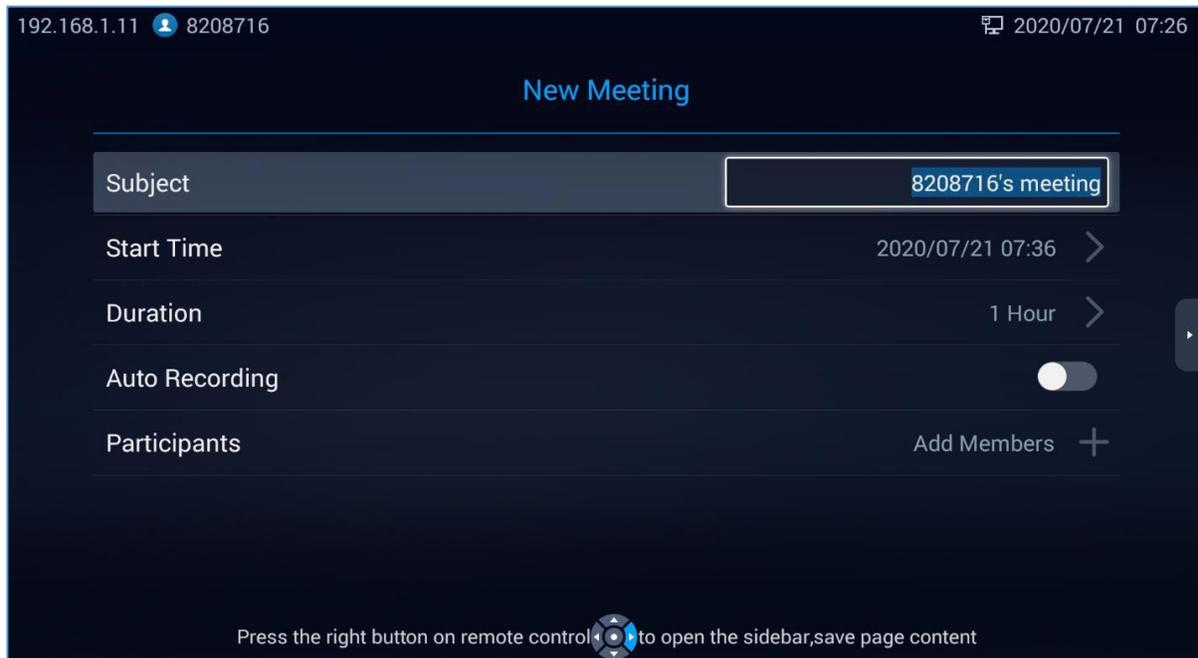


図 49: GVC3212 会議予約画面

ユーザーは、**Subject** (件名)、**Start Time** (開始時間) と **Duration** (通話時間)、**Auto Recording** (自動録音/録画) の有効/無効、招待する **Participants** (参加者) などのミーティング詳細を設定することができます。ユーザーは、参加者横の **Add Members** (メンバーの追加) を押し、**Call History & Local Contacts** (通話履歴&ローカル連絡先) または **Enterprise Phonebook** (企業電話帳) から招待者を追加できます。右矢印ナビゲーションキーを押し、**save**, (保存) を押すことにより新しいミーティング予約を **[Meeting List]**. (ミーティングリスト) の中に保存できます。新しい会議開始時間または通話時間が既に予約された会議と重複する場合、ポップアップメッセージが画面上に表示され、ユーザーは、新しいミーティング詳細を編集するか、またはそのまま予約を継続することができます。

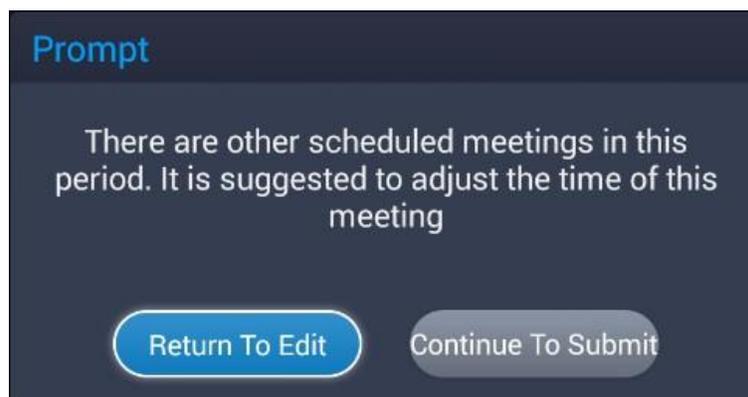


図50:予約警告



ミーティングリスト

ユーザーは、LCDメニュー → **Meeting List**. (ミーティングリスト) にアクセスし、進行中のミーティング詳細と現在のミーティング後に予約されている会議を確認することができます。GVC3212のリモコンで1つの会議を選択し、"OK"を押し、会議詳細を確認します。進行中のミーティングは**In Progress (進行中)**と表示されます。ユーザーは、進行中の会議を選択し、そしてミーティングを主催するまたは終了することができます。まだ開始していない予約ミーティングは、**Not Start**. (始まっていません)と表示されます。ユーザーは会議リスト上のミーティングを選択し、会議の**Edit (編集)**、**Cancel (キャンセル)** または**start (開始)** を選択できます。予約されたミーティングの開始時間が来ても、会議ホストが会議を開始できなかった場合、会議リストに**to be host (ホスト待ち)**が表示されます。ホストはそれから会議の**Start (開始)** または**Cancel (キャンセル)** を選択できます。

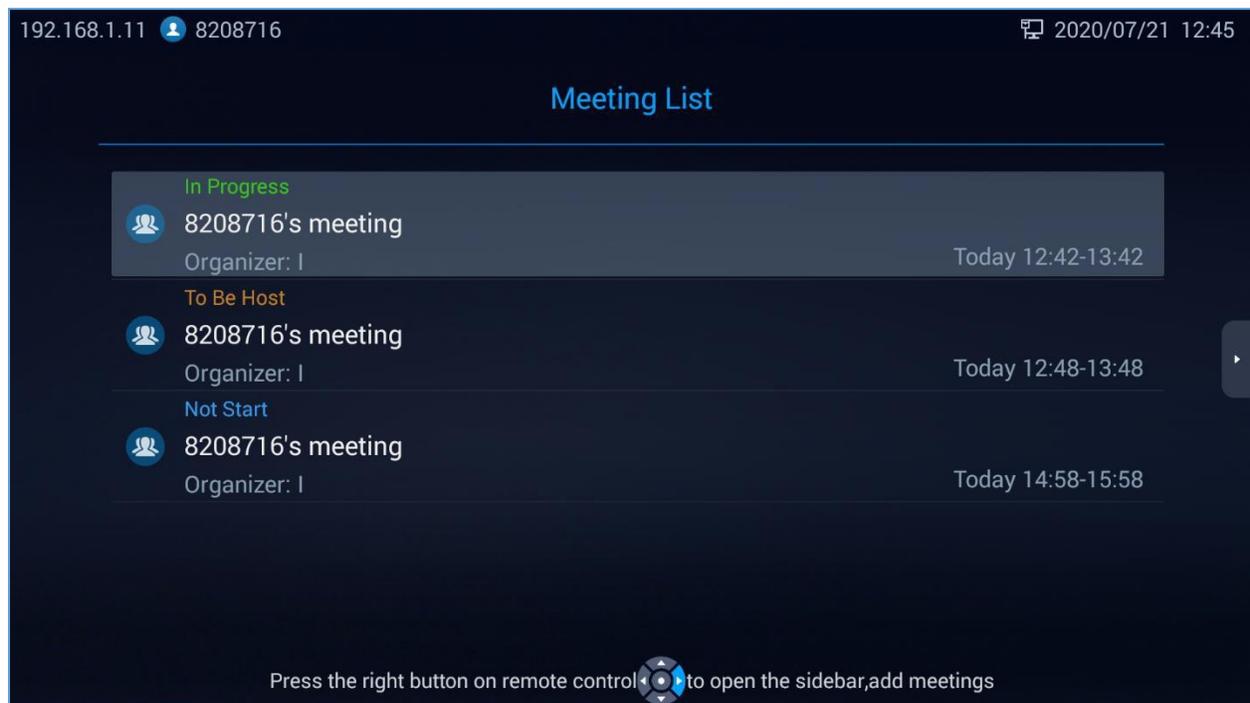


図51 : Meeting List (ミーティングリスト)

連絡先

ローカル連絡先

画面メニュー → **Contacts (連絡先)** → **Local Contacts (ローカル連絡先)** からユーザーは、ローカル連絡先ディレクトリへのアクセスとローカルディレクトリへの連絡先の追加または編集を選択できます。



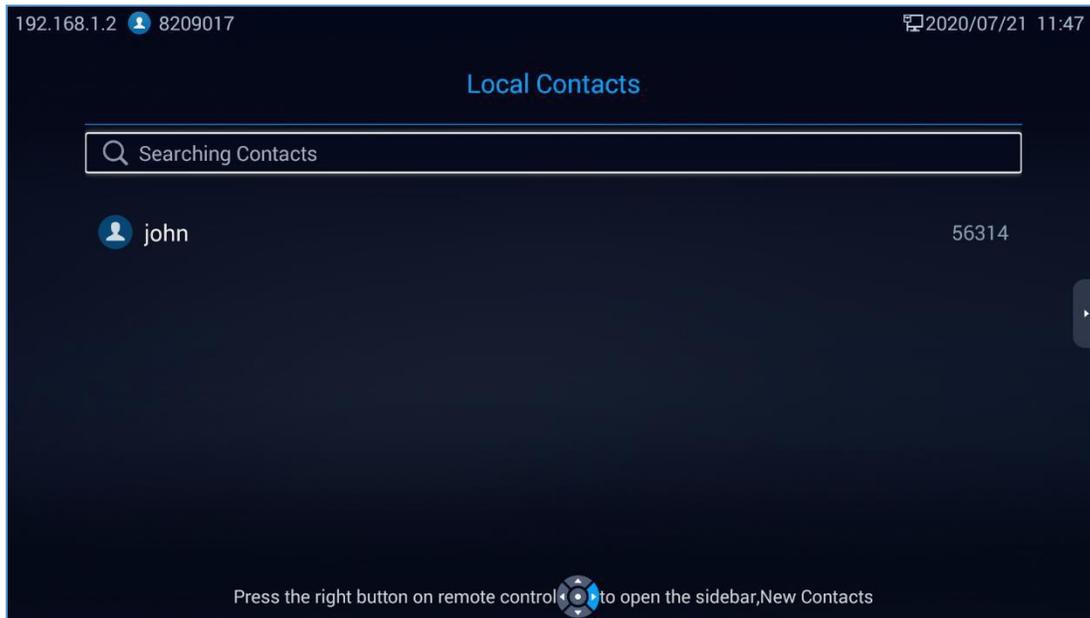


図52: ローカル連絡先

- 操作

- **連絡先の検索:** ユーザーは、検索ボックスにキーワードを入れることができます。GVC3212は、検索キーワードに関連した連絡先を自動的に表示します。曖昧検索と正確検索が共にサポートされています。
- **通話:** 連絡先を選択し、GVC3212のリモコンで決定キーを押し、**Call (通話)** を選択するか、番号を選択し通話を開始します。
- **追加:** リモコンの右矢印キーを押し、それから**New Contact (新規連絡先)** を押し、連絡先情報を入力します。そして右矢印キーを押しそれから **save (保存)** を選択します。

編集: 連絡先を選択し、**Edit (編集)** を押し編集後、右矢印キーを押し、**save (保存)** を選択します。

企業電話帳

連絡先は、サーバー側で集中管理されます。ユーザーは、画面メニュー → **Contacts (連絡先)** → **Enterprise phonebook (企業連絡帳)** から連絡先にアクセスできます。ここから企業連絡先画面が表示されます。





図53: Enterprise phonebook' (企業電話帳)

- ディレクトリ内の宛先を選択し、GVC3212のリモコンで緑色の発信ボタン  を押し、この連絡先に向け発信するか、連絡先を選択し、**OK**ボタンを押してダイヤルします。
- リモコンの右矢印キーを押し、それから**Refresh (更新)**を押してディレクトリをリフレッシュできます。
- 上段の検索ボックスを選択し、それから文字または数字を入れて連絡先を探します。
- リモコンの右矢印キーを押し、それから **Batch Call (一斉呼び出し)** を選択し、連絡先グループを選択し、複数連絡先に同時に発信することができます。